

第 6 期介護保険事業計画策定のためのアンケート調査

～概要報告書～

平成 26 年 6 月

株式会社 関西総合研究所

目 次

I 調査の概要

1. 調査目的	1
2. 調査期間	1
3. 調査の分類及び対象者等	1
4. 調査方法	1
5. 調査項目	1
6. 報告書の見方	1
7. 二次予防（事業）対象者について	2

II 市民意識調査の結果

1. 回答者の状況	3
2. 今後の生活	12
3. 地域との関係	17
4. 健康づくりなどの取り組み	19
5. その他	22

III 居宅介護支援事業所等アンケート調査の結果

1. 事業所の概要	24
2. 課題等	25

IV 介護事業所アンケート調査の結果

1. 事業所の概要	29
2. 課題等	30

I 調査の概要

1. 調査目的

地域の課題をより今まで以上に的確に把握し、第6期介護保険事業計画策定の基礎資料とするため、市民意識調査を実施する。また、専門職種による意見を聴取し、計画策定に反映するため、市内の介護サービス事業所に対するアンケート調査を実施する。

2. 調査期間

平成26年5月～6月

3. 調査の分類及び対象者等

分類	対象	対象者数	回収状況
市民意識調査※	一般高齢者（65歳以上）	2,500人	2,134人 (回収率85.4%)
	要介護（支援）認定者（65歳以上）	500人	382人 (回収率76.4%)
事業者調査	介護サービス事業所	113か所	97か所 (回収率85.8%)
	居宅介護支援事業所・介護予防支援事業所	36か所	31か所 (回収率86.1%)

※65歳以上の住民基本台帳から無作為抽出

4. 調査方法

郵送による配布・回収

5. 調査項目

市民意識調査は、国が示す「日常生活圏域ニーズ調査」の全項目（問1～8）に、その他の項目として問9・10を加えている。

事業者調査は、他市のアンケート内容を参考に、生駒市の地域特性を考慮し、選択・抜粋している。

6. 報告書の見方

- ① 集計結果は、小数点以下第2位を四捨五入しており、比率の合計が100.0%にならないことがある。複数回答を求めた設問は、回答者に対する割合を示しているので合計が100%を超える。
- ② 「全体」は、回答者数であり、「回答総数」は複数回答の場合の全回答数を指し、「該当数」は回答者を特定した場合の母数を表している。
- ③ 本文中の質問文及び選択肢などについて、長い文については簡略化して用いている。

7. 二次予防（事業）対象者について

二次予防（事業）対象者とは、要支援・要介護状態となるおそれの高い状態にあると認められる 65 歳以上の者で、国が示している『基本チェックリスト』の回答状況により判定される。『基本チェックリスト』は、高齢者の生活機能を評価し、要介護状態となるリスクを予測することを目的に厚生労働省において開発された 25 項目の設問（問 2～問 8）から構成されており、国の基準に基づき、「運動器の機能」「低栄養」「口腔の機能」「生活全般の機能」の項目のうち、いずれかの低下基準に該当すると、二次予防（事業）対象者となる。具体的には、問 2～問 8 の設問のうち、『基本チェックリスト』に該当する 25 項目について「運動器」「栄養状態」「口腔機能」と「全般的な生活機能」を判定し“元気高齢者”と“二次予防（事業）対象者”を抽出している。

《生活機能低下の判定基準》

- ・運動器……問 2 Q1～3、問 3 Q1・2 ⇒5 項目のうち、3 項目以上該当
- ・栄養……問 4 Q1・2 ⇒ 2 項目で、2 項目該当
- ・口腔機能……問 4 Q3～5 ⇒3 項目のうち、2 項目以上該当
- ・生活全般……問 2 Q1～3・5・6、問 3 Q1・2、問 4 Q1～5、問 5 Q1～3、問 6 Q1・2・5、問 7 Q5・6 ⇒20 項目のうち、10 項目以上該当

Ⅱ 市民意識調査の結果

1. 回答者の状況

1) 男女・年齢

回答者の性別は、「男性」が 45.4%、「女性」が 54.6%となっている。年齢別にみると、「65～74 歳」が 60.9%、「75～84 歳」が 28.5%、「85 歳以上」が 10.6%となっている。

日常生活圏域ごとの男女年齢別の状況は下記の通りである。

《日常生活圏域ごとの回答者の状況（性別・年齢別）》

	全 体	男 性				女 性			
			65～74 歳	75～84 歳	85 歳以上		65～74 歳	75～84 歳	85 歳以上
全 体	2,516 100.0%	1,143 45.4%	725 28.8%	333 13.2%	85 3.4%	1,373 54.6%	807 32.1%	384 15.3%	182 7.2%
圏域 1	143 100.0%	68 47.6%	45 31.5%	14 9.8%	9 6.3%	75 52.4%	43 30.1%	19 13.3%	13 9.1%
圏域 2	248 100.0%	132 53.2%	80 32.3%	44 17.7%	8 3.2%	116 46.8%	72 29.0%	30 12.1%	14 5.6%
圏域 3	459 100.0%	214 46.6%	145 31.6%	62 13.5%	7 1.5%	245 53.4%	165 35.9%	52 11.3%	28 6.1%
圏域 4	272 100.0%	116 42.6%	76 27.9%	34 12.5%	6 2.2%	156 57.4%	83 30.5%	42 15.4%	31 11.4%
圏域 5	219 100.0%	96 43.8%	58 26.5%	30 13.7%	8 3.7%	123 56.2%	68 31.1%	38 17.4%	17 7.8%
圏域 6	207 100.0%	93 44.9%	57 27.5%	27 13.0%	9 4.3%	114 55.1%	65 31.4%	38 18.4%	11 5.3%
圏域 7	469 100.0%	196 41.8%	108 23.0%	65 13.9%	23 4.9%	273 58.2%	153 32.6%	79 16.8%	41 8.7%
圏域 8	186 100.0%	89 47.8%	58 31.2%	25 13.4%	6 3.2%	97 52.2%	58 31.2%	33 17.7%	6 3.2%
圏域 9	146 100.0%	59 40.4%	39 26.7%	15 10.3%	5 3.4%	87 59.6%	46 31.5%	30 20.5%	11 7.5%
圏域 10	167 100.0%	80 47.9%	59 35.3%	17 10.2%	4 2.4%	87 52.1%	54 32.3%	23 13.8%	10 6.0%

2) 世帯構成

世帯構成は、「夫婦のみ（世帯）」が 42.5%、「家族と同居（夫婦のみ世帯を除く）」が 39.9%、「一人暮らし」が 12.7%となっている。

日常生活圏域ごとにみると、「夫婦のみ」は圏域 3 が 46.8%であり、次いで圏域 6 と圏域 10 がともに 44.9%となっている。また、「一人暮らし」は圏域 7 が 20.0%であり、次いで圏域 5 が 17.8%となっている。

《日常生活圏域ごとの回答者の状況（世帯構成）》

	全 体	一人暮らし	夫婦のみ	家族と同居 (夫婦のみ除く)	その他	無記入
全 体	2,516 100.0%	319 12.7%	1,069 42.5%	1,004 39.9%	74 2.9%	50 2.0%
圏域 1	143 100.0%	10 7.0%	53 37.1%	70 49.0%	5 3.5%	5 3.5%
圏域 2	248 100.0%	19 7.7%	111 44.8%	110 44.4%	8 3.2%	0 0.0%
圏域 3	459 100.0%	32 7.0%	215 46.8%	192 41.8%	11 2.4%	9 2.0%
圏域 4	272 100.0%	35 12.9%	117 43.0%	112 41.2%	8 2.9%	0 0.0%
圏域 5	219 100.0%	39 17.8%	93 42.5%	75 34.2%	6 2.7%	6 2.7%
圏域 6	207 100.0%	33 15.9%	93 44.9%	70 33.8%	5 2.4%	6 2.9%
圏域 7	469 100.0%	94 20.0%	185 39.4%	156 33.3%	19 4.1%	15 3.2%
圏域 8	186 100.0%	23 12.4%	66 35.5%	89 47.8%	4 2.2%	4 2.2%
圏域 9	146 100.0%	15 10.3%	61 41.8%	63 43.2%	4 2.7%	3 2.1%
圏域 10	167 100.0%	19 11.4%	75 44.9%	67 40.1%	4 2.4%	2 1.2%

3) 身体状況

要支援・要介護認定者を除く一般高齢者のうち、問 2～問 8 の日常生活で必要となる生活機能の項目について国が示している『基本チェックリスト』を基に判定した結果（P2 参照）、「運動器の機能低下」「低栄養」「口腔機能の低下」「全般的な生活機能の低下」のいずれかに該当する“二次予防（事業）対象者”は 26.8%であり、いずれにも該当しない“元気高齢者”は 73.2%となっている。

また、要介護（支援）高齢者は、“要支援高齢者（要支援 1・2）”は 35.1%、“要介護高齢者（要介護 1～5）”は 64.9%となっている。

《回答者の身体状況》

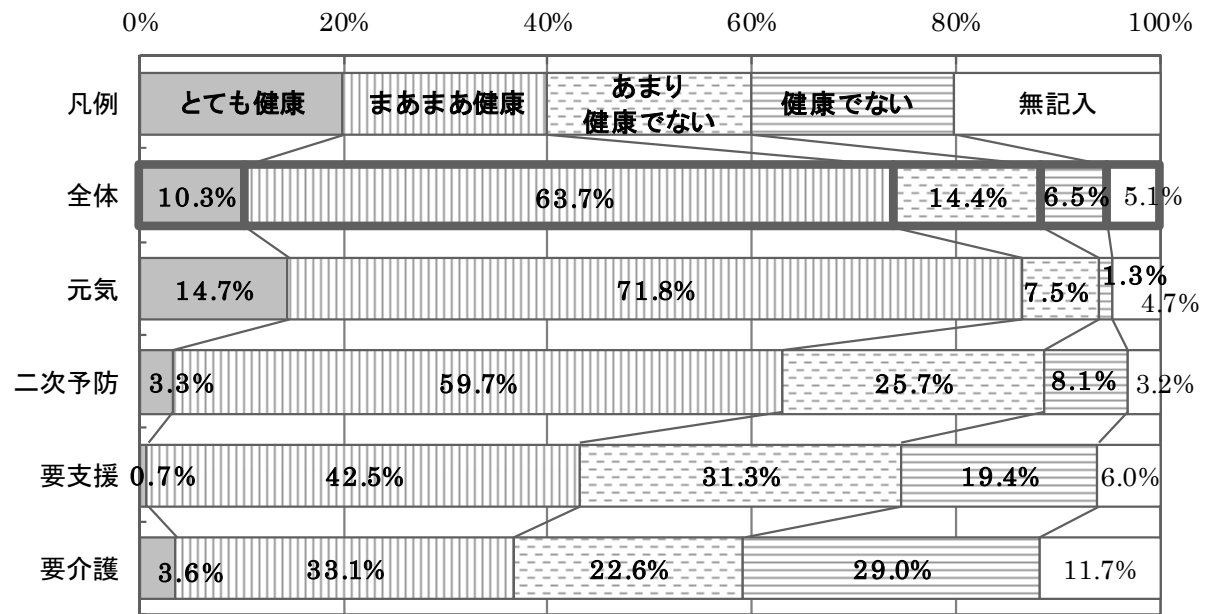
	全 体	一般高齢者			要介護（支援）高齢者		
			元気 高齢者	二次予防 対象者		要支援 1・2	要介護 1～5
全 体	2,516	2,134	1,563	571	382	134	248
	—	100.0%	73.2%	26.8%	100.0%	35.1%	64.9%
男性	1,143	1,012	764	248	131	45	86
	—	100.0%	75.5%	24.5%	100.0%	34.4%	65.6%
女性	1,373	1,122	799	323	251	89	162
	—	100.0%	71.2%	28.8%	100.0%	35.5%	64.5%
65～74 歳	1,532	1,478	1,172	306	54	16	38
	—	100.0%	79.3%	20.7%	100.0%	29.6%	70.4%
75～84 歳	717	550	347	203	167	70	97
	—	100.0%	63.1%	36.9%	100.0%	41.9%	58.1%
85 歳以上	267	106	44	62	161	48	113
	—	100.0%	41.5%	58.5%	100.0%	29.8%	70.2%
圏域 1	143	122	86	36	21	7	14
	—	100.0%	70.5%	29.5%	100.0%	33.3%	66.7%
圏域 2	248	220	173	47	28	5	23
	—	100.0%	78.6%	21.4%	100.0%	17.9%	82.1%
圏域 3	459	397	299	98	62	23	39
	—	100.0%	75.3%	24.7%	100.0%	37.1%	62.9%
圏域 4	272	224	168	56	48	22	26
	—	100.0%	75.0%	25.0%	100.0%	45.8%	54.2%
圏域 5	219	183	129	54	36	11	25
	—	100.0%	70.5%	29.5%	100.0%	30.6%	69.4%
圏域 6	207	175	122	53	32	12	20
	—	100.0%	69.7%	30.3%	100.0%	37.5%	62.5%
圏域 7	469	386	280	106	83	29	54
	—	100.0%	72.5%	27.5%	100.0%	34.9%	65.1%
圏域 8	186	158	114	44	28	9	19
	—	100.0%	72.2%	27.8%	100.0%	32.1%	67.9%
圏域 9	146	124	83	41	22	8	14
	—	100.0%	66.9%	33.1%	100.0%	36.4%	63.6%
圏域 10	167	145	109	36	22	8	14
	—	100.0%	75.2%	24.8%	100.0%	36.4%	63.6%

4) 健康状態

健康状態について、「とても健康」と「まあまあ健康」を合わせた『健康である』は、“元気高齢者”は86.5%であり、“二次予防対象者”は63.0%となっている。また、“要支援高齢者（要支援1・2）”は43.2%、“要介護高齢者（要介護1～5）”は36.7%となっている。

要介護度が進行するのに伴い、健康状態も悪化していると感じる割合が高くなっている。

《健康状態》



身体状況別にみると、どの対象群についても、第1位は「高血圧」となっており、“元気高齢者”では、加齢による疾病（目の病気）や生活習慣病が上位にあるが、第2位に「（病気は）ない」が18.0%であり、中高年からの健康づくりが重要であると思われる。

“二次予防対象者”や“要支援高齢者”の特徴は、高血圧や筋骨格の病気が上位にあり、“要介護高齢者”では認知症と各ステージによる対策が必要と思われる。

《身体状況別 現在治療中もしくは後遺症のある病気（上位5位）》

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体 【回答数=2,516】	高血圧 36.8%	目の病気 19.4%	筋骨格の病気 （骨粗しょう症等） 14.6%	（病気は）ない 13.3%	糖尿病 12.2%
元気高齢者 【該当数=1,563】	高血圧 42.6%	（病気は）ない 18.0%	目の病気 16.5%	高脂血症（脂質異常） 11.5%	糖尿病 11.3%
二次予防対象者 【該当数=571】	高血圧 37.3%	目の病気 24.0%	筋骨格の病気 （骨粗しょう症等） 18.9%	糖尿病 14.5%	胃腸・肝臓・胆のうの病気 14.0%
要支援高齢者 【該当数=134】	高血圧 43.3%	筋骨格の病気 （骨粗しょう症等） 42.5%	目の病気 30.6%	心臓病 17.2%	耳の病気／その他 11.9%
要介護高齢者 【該当数=248】	高血圧 31.9%	認知症（アルツハイマー病等） 27.0%	筋骨格の病気 （骨粗しょう症等） 24.6%	目の病気 20.6%	心臓病 18.1%

5) 生活機能等の状況

“二次予防対象者”について、国が示している『基本チェックリスト』を基にした次の4つの生活機能低下項目である「運動器の機能低下」「低栄養」「口腔機能の機能低下」「全般的な生活機能の低下」別にみると、「口腔機能の機能低下」が65.8%、「運動器の機能低下」が53.9%、「全般的な生活機能の低下」が23.1%となっている。

また、問2と問3、問8の転倒やうつ症状に関する項目を基に、リスクの有無を判定すると、“二次予防対象者”は「うつ症状のリスクあり」が42.4%、「転倒のリスクあり」が45.9%となっており、うつ症状や転倒リスクが高いことがうかがえる。

また、“元気高齢者”については、「うつ症状のリスクあり」が13.1%、「転倒のリスクあり」が9.5%となっている。

《二次予防対象者の「各機能の低下状況」、「うつ症状」「転倒」リスク》

	全 体	運動器 機能低下	栄養状態 低栄養	口腔機能 機能低下	全般的な生活 機能低下	うつ症状 リスクあり	転倒 リスクあり
全 体	571 100.0%	308 53.9%	27 4.7%	376 65.8%	132 23.1%	242 42.4%	262 45.9%
男性	248 100.0%	121 48.8%	11 4.4%	176 71.0%	55 22.2%	106 42.7%	119 48.0%
女性	323 100.0%	187 57.9%	16 5.0%	200 61.9%	77 23.8%	136 42.1%	143 44.3%
65～74 歳	306 100.0%	126 41.2%	17 5.6%	215 70.3%	51 16.7%	102 33.3%	104 33.9%
75～84 歳	203 100.0%	131 64.5%	7 3.4%	132 65.0%	51 25.1%	108 53.2%	121 59.6%
85 歳以上	62 100.0%	51 82.3%	3 4.8%	29 46.8%	30 48.4%	32 51.6%	37 60.7%

《元気高齢者の「うつ症状」「転倒」リスク》

	全 体	うつ症状 リスクあり	転倒 リスクあり
全 体	1,563 100.0%	204 13.1%	148 9.5%
男性	764 100.0%	95 12.4%	79 10.3%
女性	799 100.0%	109 13.6%	69 8.6%
65～74 歳	1,172 100.0%	135 11.5%	88 7.5%
75～84 歳	347 100.0%	62 17.9%	54 15.6%
85 歳以上	44 100.0%	7 15.9%	6 13.3%

“要支援高齢者”では、「うつ症状のリスクあり」が 65.7%、「転倒のリスクあり」が 76.9%となっている。

《要支援高齢者の「各機能の低下状況」、「うつ症状」「転倒」リスク》

	全 体	運動器 機能低下	栄養状態 低栄養	口腔機能 機能低下	全般的な生活 機能低下	うつ症状 リスクあり	転倒 リスクあり
全 体	134 100.0%	99 73.9%	5 3.7%	69 51.5%	60 44.8%	88 65.7%	103 76.9%
男性	45 100.0%	28 62.2%	2 4.4%	24 53.3%	19 42.2%	28 62.2%	35 77.8%
女性	89 100.0%	71 79.8%	3 3.4%	45 50.6%	41 46.1%	60 67.4%	68 76.4%
65～74 歳	16 100.0%	11 68.8%	1 6.3%	8 50.0%	8 44.4%	9 56.3%	9 56.3%
75～84 歳	70 100.0%	49 70.0%	3 4.2%	33 47.1%	25 33.8%	45 64.3%	53 75.7%
85 歳以上	48 100.0%	39 81.3%	1 2.1%	28 58.3%	27 64.3%	34 70.8%	41 85.4%

6) 認知症レベル（認知機能障害程度「CPS」について）

認知機能の障害程度の指標として有用とされる認知機能障害程度（CPS）に準じた評価リスク該当者を算出した。算出にあたっては、問5『物忘れについて』のQ4～Q6及び問6『日常生活』のQ6の計4問の質問が、認知機能の障害程度を測るための質問項目となっている。

《認知機能障害程度のレベル》

レベル	障害の程度
0 レベル	障害なし
1 レベル	境界的である
2 レベル	軽度の障害がある
3 レベル	中等度の障害がある
4 レベル	やや重度の障害がある
5 レベル	重度の障害がある
6 レベル	最重度の障害がある

資料：厚生労働省老健局「日常生活圏域ニーズ調査モデル事業・結果報告書」

認知機能の障害程度の判定項目に従い判定した結果、“元気高齢者”は、「0 レベル（認知症の障害なし）」が84.3%であり、認知障害と認知症の境界に位置する「1 レベル（境界的）」が9.6%となっている。

また、“二次予防対象者”は、「0 レベル（障害なし）」が69.2%であり、認知障害と認知症の境界に位置する「1 レベル（境界的）」が15.9%、「2 レベル（軽度）」が7.7%となっている。

“要支援高齢者”では、「0 レベル（障害なし）」が53.0%であり、認知障害と認知症の境界に位置する「1 レベル（境界的）」が19.4%、「2 レベル（軽度）」が17.2%となっている。

このことから、身体が状況が悪化するほど、認知レベルが悪化することがうかがえる。

《元気高齢者の「認知症レベル」》

	全体	0 レベル (障害なし)	1 レベル (境界的)	2 レベル (軽度)	3 レベル (中等度)	4 レベル (やや重度)	5 レベル (重度)	6 レベル (最重度)	無記入 (判定不能)
全体	1,563 100.0%	1,317 84.3%	150 9.6%	23 1.5%	1 0.1%	0 0.0%	2 0.1%	0 0.0%	70 4.5%
男性	764 100.0%	625 81.8%	82 10.7%	16 2.1%	1 0.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	40 5.2%
女性	799 100.0%	692 86.6%	68 8.5%	7 0.9%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.3%	0 0.0%	30 3.8%
65～74 歳	1,172 100.0%	1,012 86.3%	108 9.2%	13 1.1%	1 0.1%	0 0.0%	2 0.2%	0 0.0%	36 3.1%
75～84 歳	347 100.0%	276 79.5%	36 10.4%	8 2.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	27 7.8%
85 歳以上	44 100.0%	29 65.9%	6 13.6%	2 4.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 15.9%

《二次予防対象者の「認知症レベル」》

	全体	0レベル (障害なし)	1レベル (境界的)	2レベル (軽度)	3レベル (中等度)	4レベル (やや重度)	5レベル (重度)	6レベル (最重度)	無記入 (判定不能)
全体	571 100.0%	395 69.2%	91 15.9%	44 7.7%	19 3.3%	1 0.2%	2 0.4%	0 0.0%	19 3.3%
男性	248 100.0%	158 63.7%	40 16.1%	26 10.5%	13 5.2%	0 0.0%	1 0.4%	0 0.0%	10 4.0%
女性	323 100.0%	237 73.4%	51 15.8%	18 5.6%	6 1.9%	1 0.3%	1 0.3%	0 0.0%	9 2.8%
65～74 歳	306 100.0%	232 75.8%	42 13.7%	16 5.2%	9 2.9%	0 0.0%	2 0.7%	0 0.0%	5 1.6%
75～84 歳	203 100.0%	125 61.6%	37 18.2%	20 9.9%	8 3.9%	1 0.5%	0 0.0%	0 0.0%	12 5.9%
85 歳以上	62 100.0%	36 58.1%	14 22.6%	8 12.9%	2 3.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 3.2%

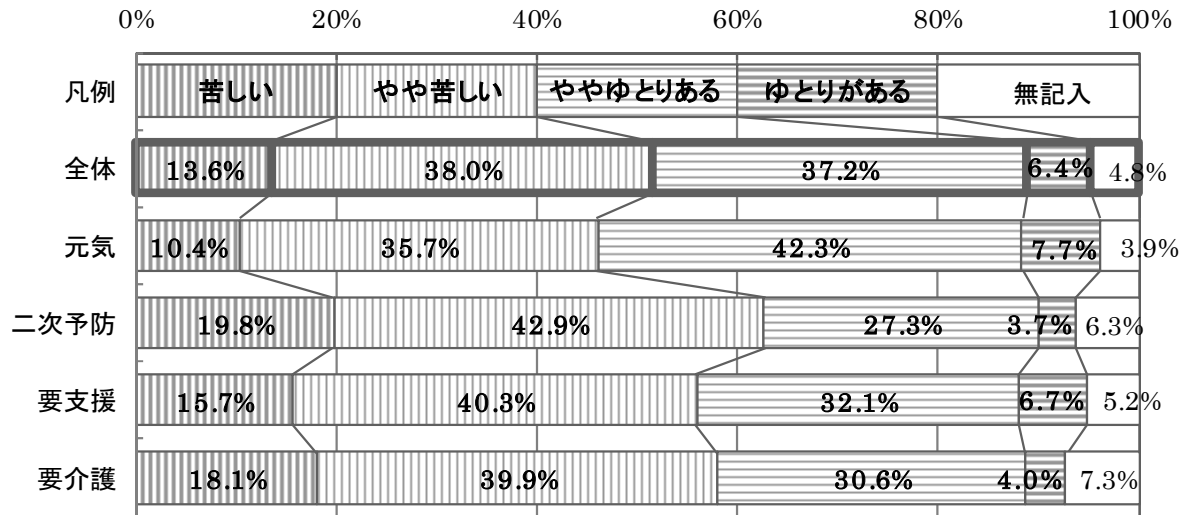
《要支援高齢者の「認知症レベル」》

	全体	0レベル (障害なし)	1レベル (境界的)	2レベル (軽度)	3レベル (中等度)	4レベル (やや重度)	5レベル (重度)	6レベル (最重度)	無記入 (判定不能)
全体	134 100.0%	71 53.0%	26 19.4%	23 17.2%	3 2.2%	1 0.7%	0 0.0%	0 0.0%	10 7.5%
男性	45 100.0%	22 48.9%	9 20.0%	10 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 8.9%
女性	89 100.0%	49 55.1%	17 19.1%	13 14.6%	3 3.4%	1 1.1%	0 0.0%	0 0.0%	6 6.7%
65～74 歳	16 100.0%	10 62.5%	3 18.8%	0 0.0%	2 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.3%
75～84 歳	70 100.0%	41 58.6%	11 15.7%	11 15.7%	1 1.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 8.6%
85 歳以上	48 100.0%	20 41.7%	12 25.0%	12 25.0%	0 0.0%	1 2.1%	0 0.0%	0 0.0%	3 6.3%

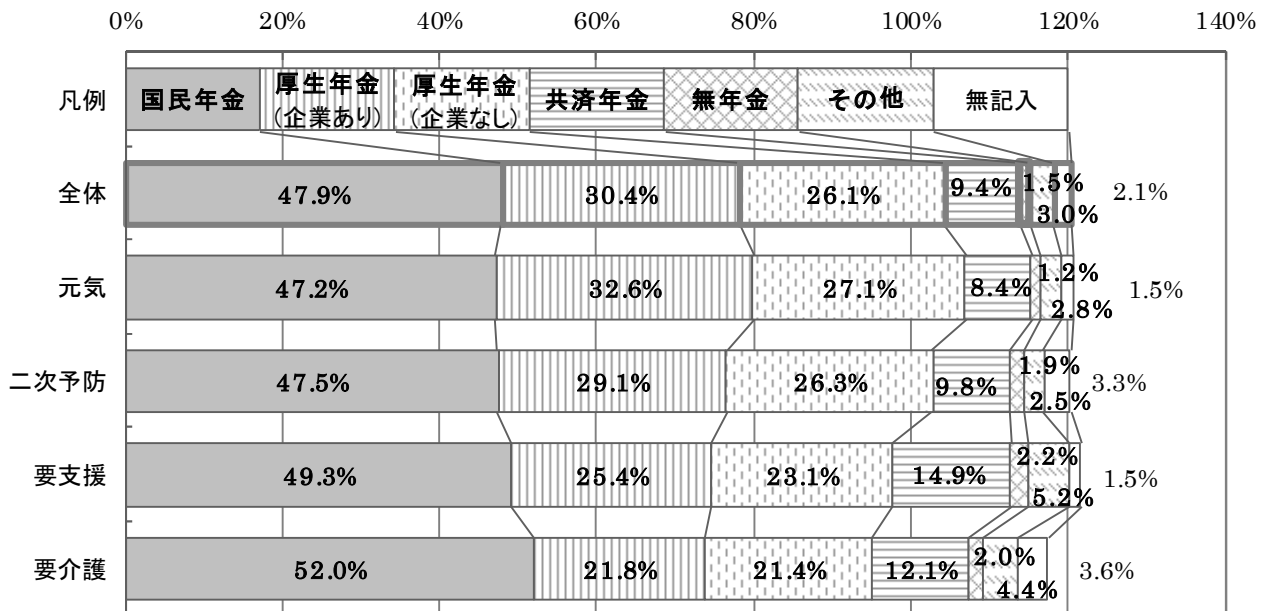
7) 現在の暮らしの状況

現在の暮らし状況として、「苦しい」と「やや苦しい」を合わせた『暮らしが苦しい』は、“元気高齢者”が46.1%、“二次予防対象者”が62.7%、“要支援高齢者”が56.0%、“要介護高齢者”は58.0%となっている。

《現在の暮らしの状況》



《参考 年金の種類》



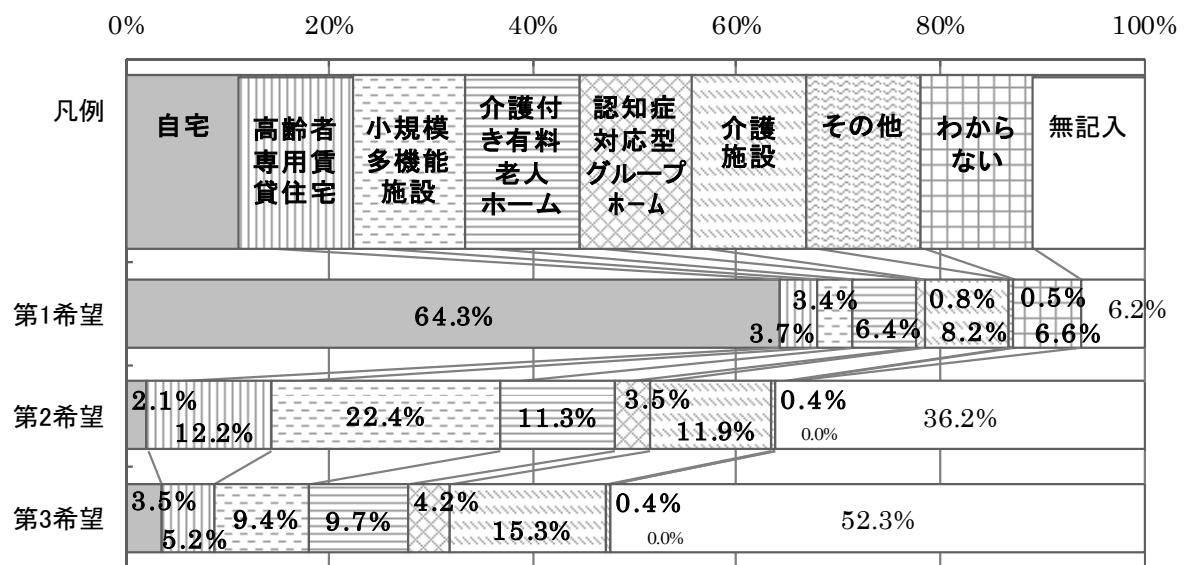
2. 今後の生活

1) 身の回りのことができなくなった時の生活の場

身の回りのことを自分でできなくなった時の生活の場は、第1希望は「自宅」が64.3%となっており、次いで「介護施設」が8.2%、「わからない」が6.6%、「介護付き有料老人ホーム」が6.4%となっている。

第2希望は「小規模多機能施設」が22.4%で最も多く、次いで「高齢者専用賃貸住宅」が12.2%、「介護施設」が11.9%となっている。また、第3希望は「介護施設」が15.3%、「介護付き有料老人ホーム」が9.7%、「小規模多機能施設」が9.4%となっている。なお、第2希望・第3希望については「無記入」の割合が多くなっている。

《身の回りのことができなくなった時の生活の場》



世帯構成別に生活の場の第1希望をみると、“一人暮らし”は「自宅」が51.7%であり、次いで「わからない」が10.7%となっている。“夫婦のみ（世帯）”は「自宅」が67.1%となっており、“家族と同居”は「自宅」が68.2%となっている。

《世帯構成別 身の回りのことができなくなった時の生活の場（第1希望）》

	全 体	自宅	高齢者専用賃貸住宅	小規模多機能施設	介護付き有料老人ホーム	認知症対応型グループホーム	介護施設	その他	わからない	無記入
全 体	2,516 100.0%	1,617 64.3%	94 3.7%	85 3.4%	160 6.4%	19 0.8%	207 8.2%	12 0.5%	165 6.6%	157 6.2%
一人暮らし	319 100.0%	165 51.7%	17 5.3%	17 5.3%	22 6.9%	3 0.9%	31 9.7%	3 0.9%	34 10.7%	27 8.5%
夫婦のみ	1,069 100.0%	717 67.1%	42 3.9%	35 3.3%	84 7.9%	8 0.7%	84 7.9%	4 0.4%	53 5.0%	42 3.9%
家族と同居	1,004 100.0%	685 68.2%	32 3.2%	32 3.2%	43 4.3%	7 0.7%	71 7.1%	3 0.3%	70 7.0%	61 6.1%

身体状況別に、生活の場の第1希望をみると、「自宅」は“元気高齢者”が65.3%、“二次予防対象者”が66.5%、“要支援高齢者”が59.0%、“要介護高齢者”が55.2%となっている。次いで“元気高齢者”は「介護付き有料老人ホーム」が7.5%であり、“二次予防対象者”と“要支援高齢者”“要介護高齢者”は「介護施設」がそれぞれ7.7%、11.9%、18.1%となっている。

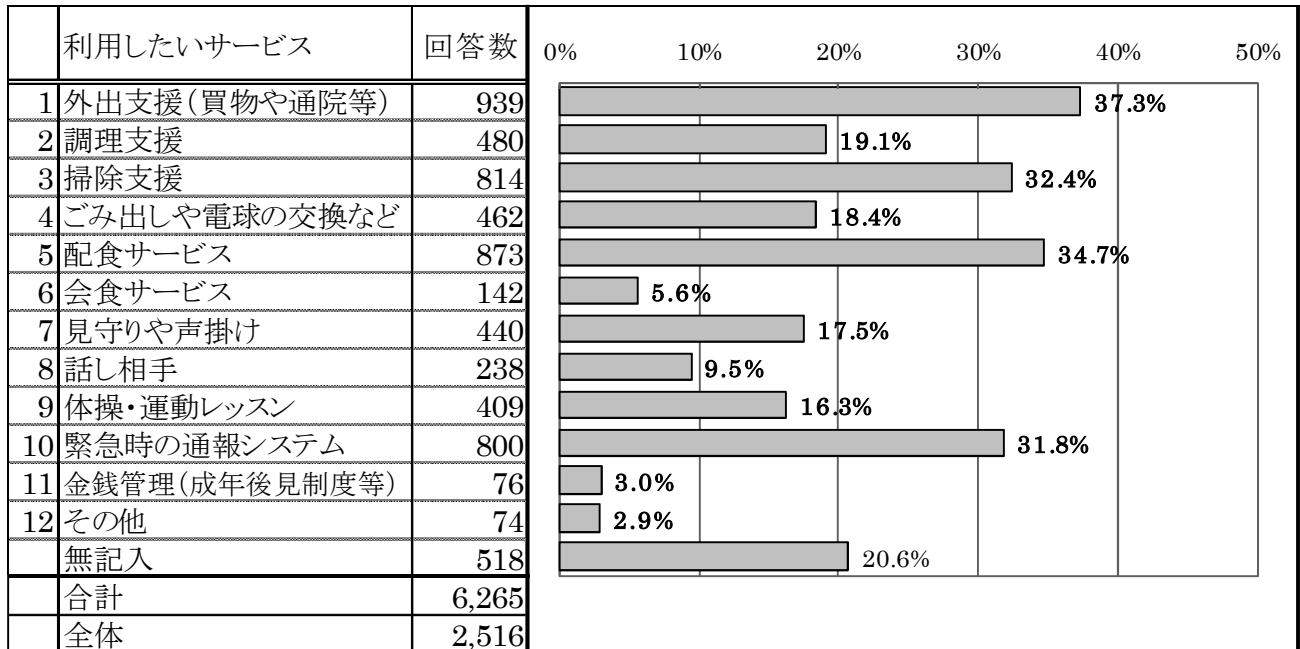
《身体状況別 身の回りのことができなくなった時の生活の場（第1希望）》

	全 体	自 宅	高齢者 専用 賃貸 住宅	小規模 多機能 施設	介護付き 有料老人 ホーム	認知症 対応型 グループ ホーム	介護施設	その他	わから ない	無記入
全 体	2,516 100.0%	1,617 64.3%	94 3.7%	85 3.4%	160 6.4%	19 0.8%	207 8.2%	12 0.5%	165 6.6%	157 6.2%
元気 高齢者	1,563 100.0%	1,021 65.3%	64 4.1%	56 3.6%	118 7.5%	13 0.8%	102 6.5%	5 0.3%	106 6.8%	78 5.0%
二次予防 対象者	571 100.0%	380 66.5%	20 3.5%	19 3.3%	23 4.0%	3 0.5%	44 7.7%	4 0.7%	37 6.5%	41 7.2%
要支援 高齢者	134 100.0%	79 59.0%	5 3.7%	5 3.7%	10 7.5%	1 0.7%	16 11.9%	2 1.5%	6 4.5%	10 7.5%
要介護 高齢者	248 100.0%	137 55.2%	5 2.0%	5 2.0%	9 3.6%	2 0.8%	45 18.1%	1 0.4%	16 6.5%	28 11.3%

2) 在宅生活を続けるうえで利用したいと思う有償サービスなど

在宅生活を続ける上で、現在もしくは今後利用したいと思う有償サービスや取り組みは、「外出支援（買物や通院等）」が 37.3%、「配食サービス」が 34.7%、「掃除支援」が 32.4%、「緊急時の通報システム」が 31.8%、「調理支援」が 19.1%となっている。

《在宅生活の継続のために利用したいサービスなど》



世帯構成別に、現在もしくは今後利用したいと思う有償サービスや取り組みの上位 5 位をみると、“一人暮らし”は「掃除支援」が 39.8%であり、次いで「配食サービス」が 32.3%となっている。

“夫婦のみ（世帯）”は「配食サービス」が 42.7%、「外出支援」が 41.6%となっている。

“家族と同居”は「外出支援」が 41.6%、「緊急時の通報システム」が 29.9%となっている。

《世帯構成別 在宅生活の継続のために利用したいサービスなど（上位 5 位）》

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
全 体 【回答数=2,516】	外出支援(買物や通院等) 37.3%	配食サービス 34.7%	掃除支援 32.4%	緊急時の通報システム 31.8%	調理支援 19.1%
一人暮らし 【該当数=319】	掃除支援 39.8%	配食サービス 32.3%	外出支援(買物や通院等) 30.4%	緊急時の通報システム 30.1%	ごみ出しや電球の交換など 23.5%
夫婦のみ世帯 【該当数=1,069】	配食サービス 42.7%	外出支援(買物や通院等) 41.6%	掃除支援 37.3%	緊急時の通報システム 36.0%	調理支援 23.3%
家族と同居 (夫婦のみ世帯除く) 【該当数=1,004】	外出支援(買物や通院等) 41.6%	緊急時の通報システム 29.9%	配食サービス 29.2%	掃除支援 26.2%	体操・運動レッスン 16.5%

身体状況別にみると、“元気高齢者”の第1位は「配食サービス」が36.4%であり、次いで「外出支援」が36.3%、「緊急時の通報システム」が32.9%、「掃除支援」が30.6%、「調理支援」が19.2%となっている。

“二次予防対象者”と“要介護高齢者”は、第1位が「外出支援」でそれぞれ41.2%、31.5%であり、次いで「掃除支援」が36.3%と24.2%、「配食サービス」が35.4%と21.8%、「緊急時の通報システム」が33.3%と21.4%、「ごみ出しや電球の交換など」が19.8%と16.9%となっている。

“要支援高齢者”は、第1位が「掃除支援」が51.5%であり、次いで「外出支援」が44.0%、「配食サービス」が35.8%、「緊急時の通報システム」が32.1%、「ごみ出しや電球の交換など」が30.6%となっている。

《身体状況別 在宅生活のために利用したいサービスなど（上位5位）》

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体 【回答数=2,516】	外出支援(買物 や通院等) 37.3%	配食サービス 34.7%	掃除支援 32.4%	緊急時の通報 システム 31.8%	調理支援 19.1%
元気高齢者 【該当数=1,563】	配食サービス 36.4%	外出支援(買物 や通院等) 36.3%	緊急時の通報 システム 32.9%	掃除支援 30.6%	調理支援 19.2%
二次予防対象者 【該当数=571】	外出支援(買物 や通院等) 41.2%	掃除支援 36.3%	配食サービス 35.4%	緊急時の通報 システム 33.3%	ごみ出しや電 球の交換など 19.8%
要支援高齢者 【該当数=134】	掃除支援 51.5%	外出支援(買物 や通院等) 44.0%	配食サービス 35.8%	緊急時の通報 システム 32.1%	ごみ出しや電 球の交換など 30.6%
要介護高齢者 【該当数=248】	外出支援(買物 や通院等) 31.5%	掃除支援 24.2%	配食サービス 21.8%	緊急時の通報 システム 21.4%	ごみ出しや電 球の交換など 16.9%

圏域別にみると、「外出支援」の第1位の圏域は、圏域1が39.2%、圏域4が39.0%、圏域6が42.0%、圏域7が33.7%、圏域8が38.7%、圏域9が41.1%、圏域10が40.1%となっている。「配食サービス」が第1位の圏域は、圏域2が40.7%、圏域3が41.2%、圏域5が36.5%となっている。

《圏域別 在宅生活のために利用したいサービスなど（上位5位）》

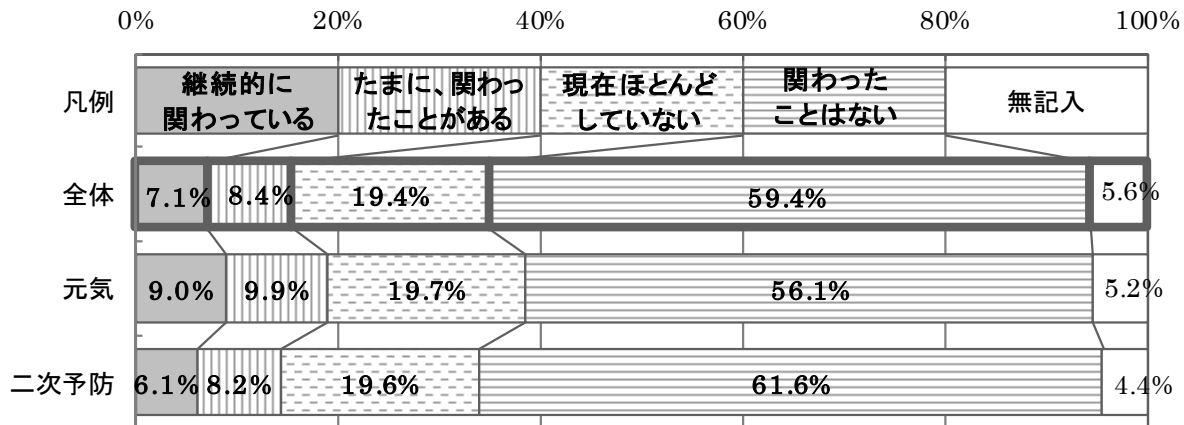
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体 【回答数=2,516】	外出支援(買物 や通院等) 37.3%	配食サービス 34.7%	掃除支援 32.4%	緊急時の通報 システム 31.8%	調理支援 19.1%
圏域 1 【該当数=143】	外出支援(買物 や通院等) 39.2%	緊急時の通報 システム 27.3%	掃除支援 25.2%	配食サービス 22.4%	調理支援 21.7%
圏域 2 【該当数=248】	配食サービス 40.7%	外出支援(買物 や通院等) 36.3%	掃除支援 35.1%	緊急時の通報 システム 32.7%	ごみ出しや電 球の交換など 21.4%
圏域 3 【該当数=459】	配食サービス 41.2%	掃除支援 36.6%	外出支援(買物 や通院等) 35.9%	緊急時の通報 システム 32.7%	調理支援 23.5%
圏域 4 【該当数=272】	外出支援(買物 や通院等) 39.0%	配食サービス 34.9%	緊急時の通報 システム 32.7%	掃除支援 32.4%	調理支援／見 守りや声掛け ／体操・運動レ ッスン 19.1%
圏域 5 【該当数=219】	配食サービス 36.5%	緊急時の通報 システム 36.5%	外出支援(買物 や通院等) 35.6%	掃除支援 32.9%	ごみ出しや電 球の交換など 23.3%
圏域 6 【該当数=207】	外出支援(買物 や通院等) 42.0%	掃除支援 33.3%	配食サービス 32.9%	緊急時の通報 システム 30.4%	見守りや声掛 け 18.8%
圏域 7 【該当数=469】	外出支援(買物 や通院等) 33.7%	緊急時の通報 システム 32.2%	配食サービス 31.3%	掃除支援 30.3%	ごみ出しや電 球の交換など 16.2%
圏域 8 【該当数=186】	外出支援(買物 や通院等) 38.7%	掃除支援 31.7%	配食サービス 31.2%	緊急時の通報 システム 28.5%	調理支援 18.8%
圏域 9 【該当数=146】	外出支援(買物 や通院等) 41.1%	配食サービス 29.5%	掃除支援 28.1%	緊急時の通報 システム 26.7%	ごみ出しや電 球の交換など 19.9%
圏域 10 【該当数=167】	外出支援(買物 や通院等) 40.1%	配食サービス 35.9%	緊急時の通報 システム 32.9%	掃除支援 31.1%	体操・運動レ ッスン 17.4%

3. 地域との関係

1) 地域活動等への関わり

地域活動やボランティア活動に役員やスタッフとしての関わりは、「関わったことはない」が 59.4%、「以前関わったことがあるが、現在はほとんどしていない」が 19.4%となっている。

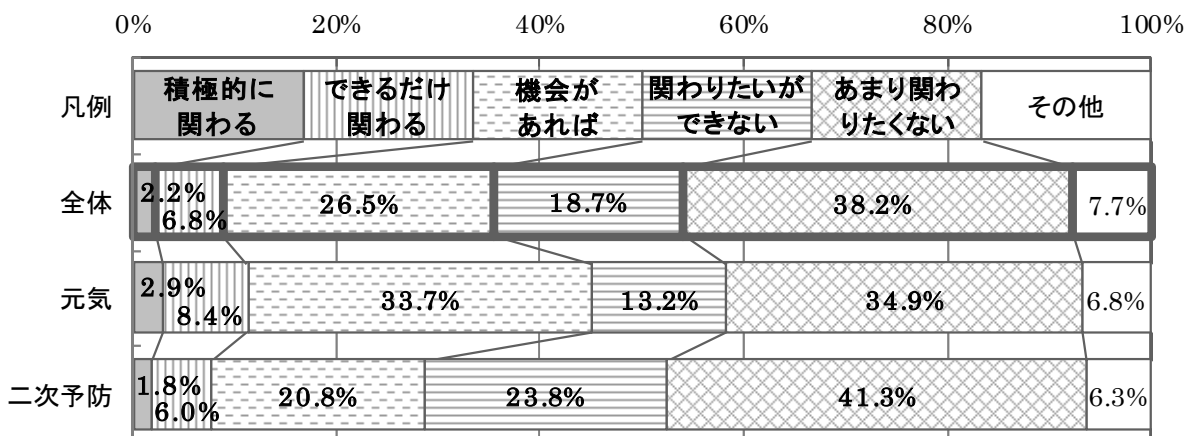
《地域活動等への役員やスタッフとしての関わり》



2) 今後の地域活動等への関わり

地域活動やボランティア活動への今後の関わりは、「あまり関わりたくない」が 38.2%、「機会があれば、関わってもよい」が 26.5%となっている。

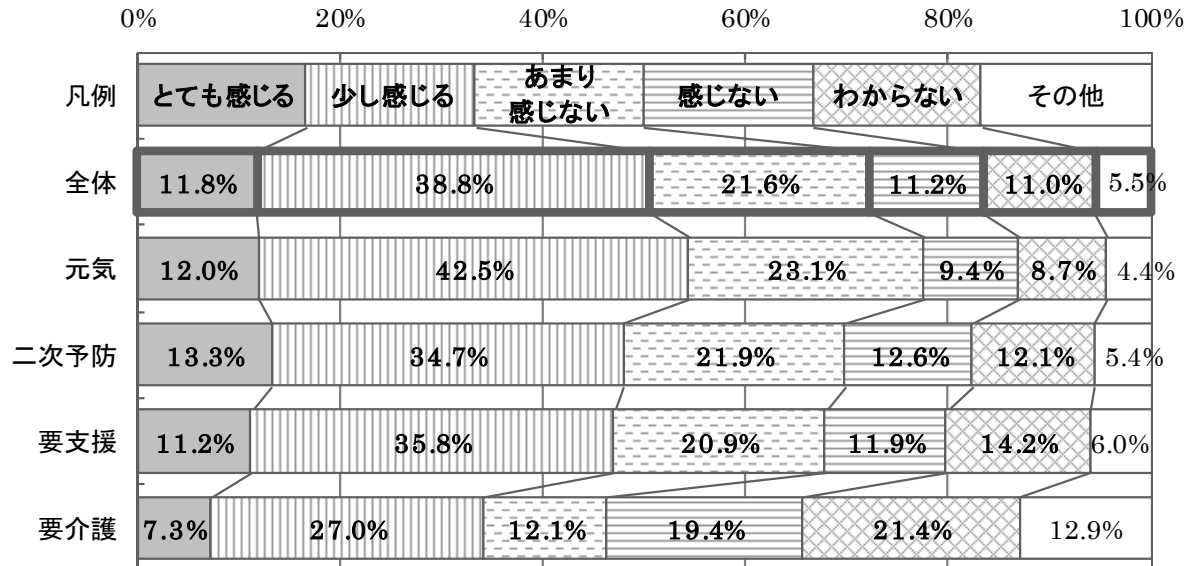
《今後の地域活動等への関わり》



3) 地域のつながりの感覚

住民同士の助け合いや支え合いなど地域のつながりを感じることは、「とても感じる」と「少し感じる」を合わせた『地域のつながりを感じる』が 50.6%となっている。

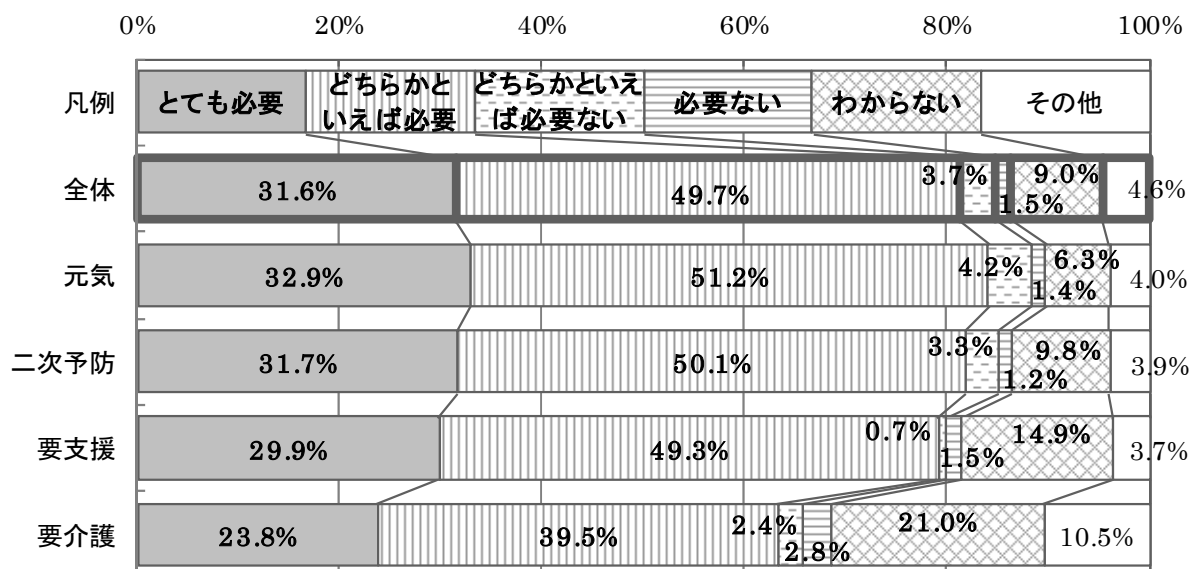
《地域のつながりの感覚》



4) 地域のつながりの必要性

地域のつながりの必要性については、「とても必要だと思う」と「どちらかといえば必要だと思う」を合わせた『地域のつながりが必要』が 81.3%となっている。

《地域のつながりの必要性》

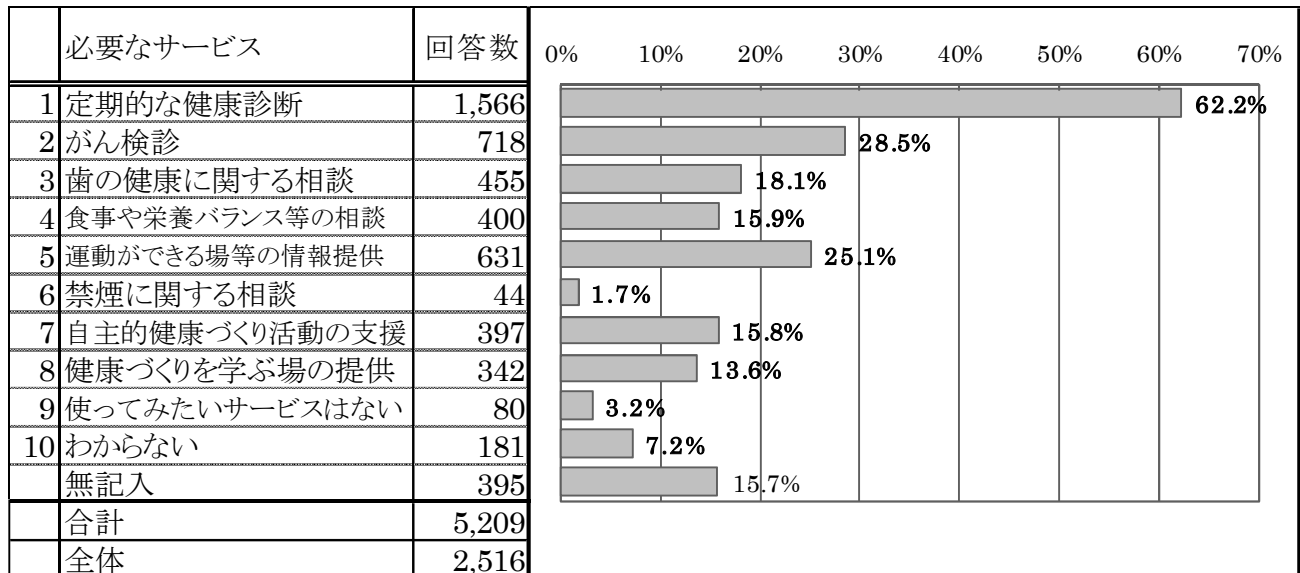


4. 健康づくりなどの取り組み

1) 健康を維持するために必要なこと

今後、健康を維持するために必要だと思うことは、「定期的な健康診断」が 62.2%、「がん検診」が 28.5%、「運動ができる場や機会等に関する情報提供」が 25.1%となっている。

《今後、健康を維持するために必要なこと》



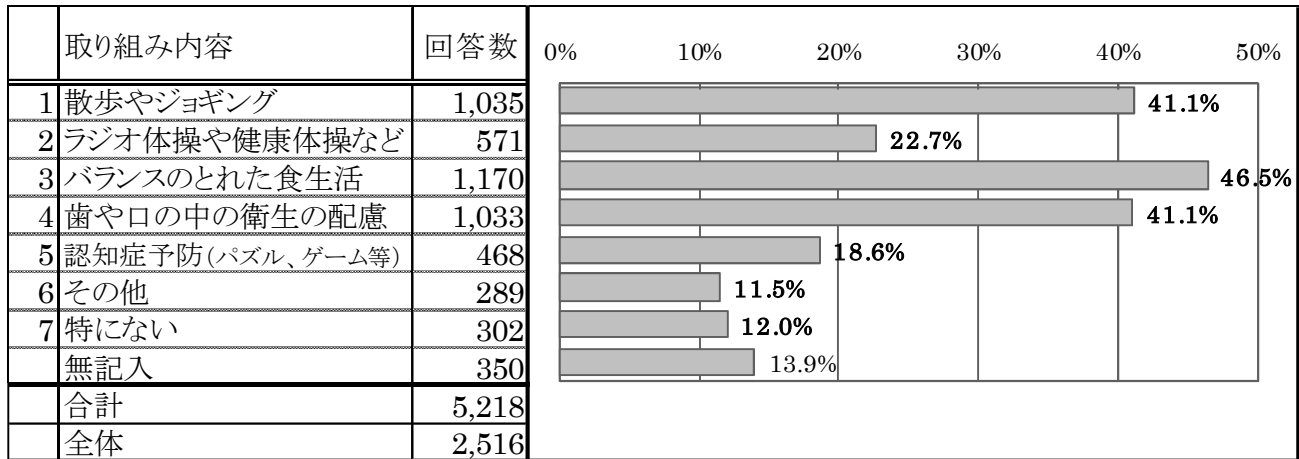
《身体状況別 今後、健康を維持するために必要なこと（上位 5 位）》

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
全体 【回答数=2,516】	定期的な健康診断 62.2%	がん検診 28.5%	運動ができる場等の情報提供 25.1%	歯の健康に関する相談 18.1%	食事や栄養バランス等の相談 15.9%
元気高齢者 【該当数=1,563】	定期的な健康診断 66.7%	がん検診 31.4%	運動ができる場等の情報提供 27.5%	自主的健康づくり活動の支援 17.1%	歯の健康に関する相談 16.9%
二次予防対象者 【該当数=571】	定期的な健康診断 63.4%	がん検診 29.9%	運動ができる場等の情報提供 23.8%	歯の健康に関する相談 22.1%	食事や栄養バランス等の相談 18.2%
要支援高齢者 【該当数=134】	定期的な健康診断 50.0%	食事や栄養バランス等の相談 23.9%	運動ができる場等の情報提供 20.9%	がん検診 20.1%	歯の健康に関する相談 20.1%
要介護高齢者 【該当数=248】	定期的な健康診断 38.3%	わからない 22.2%	歯の健康に関する相談 15.3%	運動ができる場等の情報提供 14.9%	食事や栄養バランス等の相談 12.1%

2) 介護予防のための普段の取り組み

介護予防のための普段の取り組みとしては、「バランスのとれた食生活をしている」が 46.5%、「散歩やジョギングをしている」が 41.1%、「歯や口の中の衛生に気を配っている」が 41.1%、となっている。

《介護予防のための普段の取り組み》



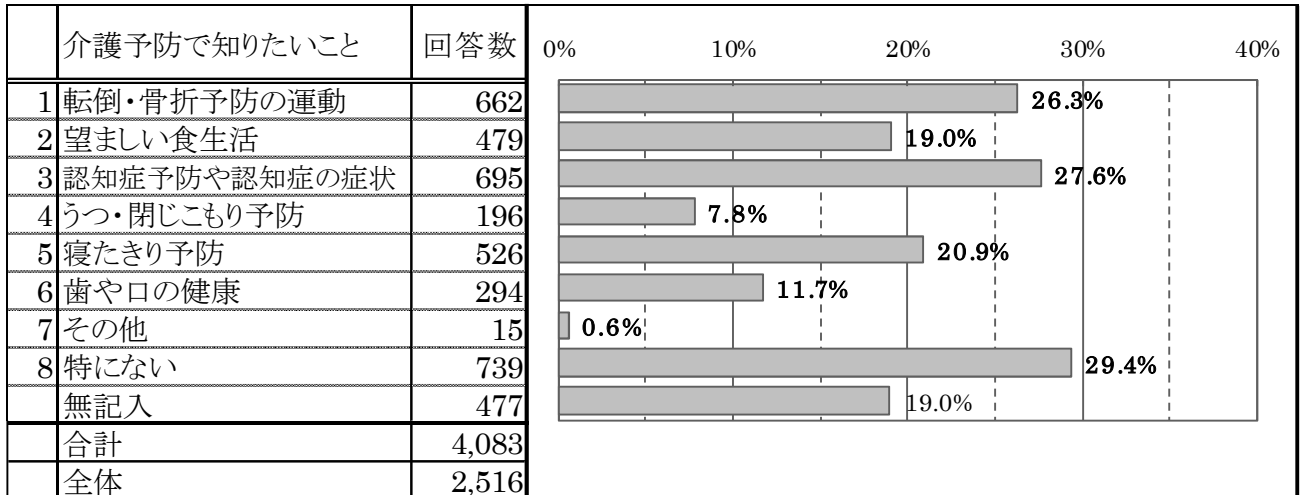
《身体状況別 介護予防のための普段の取り組み（上位 5 位）》

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
全 体 【回答数=2,516】	バランスのとれた食生活 46.5%	散歩やジョギング 41.1%	歯や口の中の衛生の配慮 41.1%	ラジオ体操や健康体操など 22.7%	認知症予防 18.6%
元気高齢者 【該当数=1,563】	バランスのとれた食生活 50.4%	散歩やジョギング 48.9%	歯や口の中の衛生の配慮 42.9%	ラジオ体操や健康体操など 24.3%	認知症予防 20.6%
二次予防対象者 【該当数=571】	バランスのとれた食生活 44.0%	歯や口の中の衛生の配慮 43.3%	散歩やジョギング 35.4%	ラジオ体操や健康体操など 21.2%	認知症予防 16.1%
要支援高齢者 【該当数=134】	バランスのとれた食生活 44.8%	歯や口の中の衛生の配慮 38.8%	散歩やジョギング 27.6%	ラジオ体操や健康体操など 27.6%	認知症予防 18.7%
要介護高齢者 【該当数=248】	バランスのとれた食生活 28.6%	特になし 29.4%	歯や口の中の衛生の配慮 25.4%	ラジオ体操や健康体操など 13.3%	散歩やジョギング 12.5%

3) 介護予防について知りたいこと

介護予防について知りたいことは、「特にない」が 29.4%、「認知症予防や認知症の症状について」が 27.6%、「転倒・骨折予防の運動について」が 26.3%となっている。

《介護予防について知りたいこと》



《身体状況別 介護予防について知りたいこと（上位 5 位）》

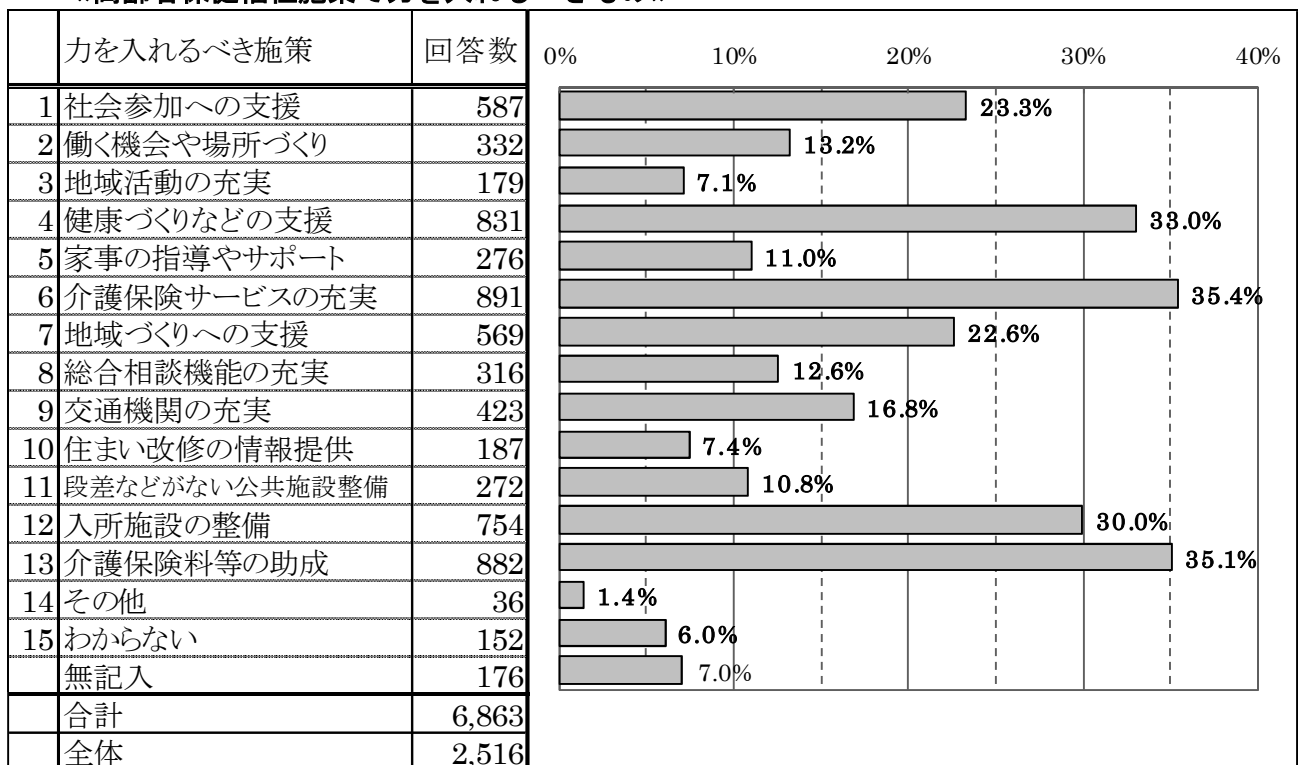
	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
全 体 【回答数=2,516】	特にない 29.4%	認知症予防や 認知症の症状 27.6%	転倒・骨折予防 の運動 26.3%	寝たきり予防 20.9%	望ましい食生 活 19.0%
元気高齢者 【該当数=1,563】	特にない 32.4%	認知症予防や 認知症の症状 28.5%	転倒・骨折予防 の運動 23.2%	望ましい食生 活 18.8%	寝たきり予防 17.7%
二次予防対象者 【該当数=571】	転倒・骨折予防 の運動 32.2%	認知症予防や 認知症の症状 28.0%	寝たきり予防 24.0%	特にない 22.1%	望ましい食生 活 21.2%
要支援高齢者 【該当数=134】	転倒・骨折予防 の運動 41.8%	寝たきり予防 33.6%	認知症予防や 認知症の症状 26.9%	望ましい食生 活 25.4%	特にない 23.1%
要介護高齢者 【該当数=248】	特にない 30.2%	寝たきり予防 27.0%	転倒・骨折予防 の運動 23.8%	認知症予防や 認知症の症状 21.4%	望ましい食生 活 12.1%

5. その他

1) 生駒市高齢者保健福祉施策で力を入れるべきもの

本市の高齢者保健福祉施策として、特に力を入れるべきものとしては、「介護保険サービスの充実」が 35.4%、「医療費の自己負担分や介護保険料を助成する事業」が 35.1%、「介護が必要にならないための健康づくりなどの支援」が 33.0%、「特別養護老人ホームやグループホームなどの入所施設の整備」が 30.0%、「趣味や生きがいをづくり、社会参加への支援」が 23.3%、「ひとり暮らしなどの高齢者見守りや支え合う地域づくりへの支援」が 22.6%、「移送サービスや公共交通などの交通機関の充実」が 16.8%、「働く機会や場所づくり」が 13.2% となっている。

《高齢者保健福祉施策で力を入れるべきもの》



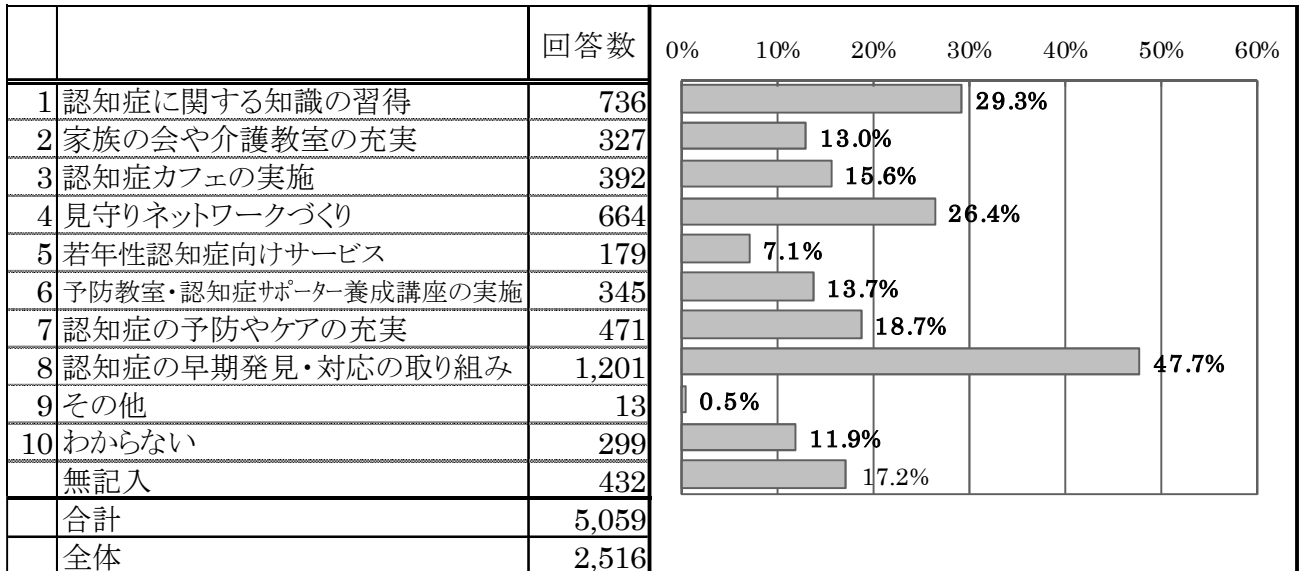
《身体状況別 高齢者福祉施策で力を入れるべきもの（上位 5 位）》

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
全 体 【回答数=2,516】	介護保険サービスの充実 35.4%	介護保険料等の助成 35.1%	健康づくりなどの支援 33.0%	入所施設の整備 30.0%	社会参加への支援 23.3%
元気高齢者 【該当数=1,563】	健康づくりなどの支援 36.1%	介護保険料等の助成 34.5%	介護保険サービスの充実 34.4%	入所施設の整備 30.0%	社会参加への支援 26.0%
二次予防対象者 【該当数=571】	介護保険料等の助成 39.4%	介護保険サービスの充実 35.4%	健康づくりなどの支援 34.2%	入所施設の整備 28.9%	社会参加への支援 23.3%
要支援高齢者 【該当数=134】	介護保険サービスの充実 39.6%	介護保険料等の助成 35.8%	健康づくりなどの支援 28.4%	入所施設の整備 28.4%	地域づくりへの支援 25.4%
要介護高齢者 【該当数=248】	介護保険サービスの充実 39.9%	入所施設の整備 33.1%	介護保険料等の助成 28.2%	交通機関の充実 15.3%	地域づくりへの支援 14.9%

2) 生駒市で認知症に関して優先的に取り組むべき施策

認知症を有する人が増えている状況を受けて、今後、安心して暮らせるために本市で優先的に取り組む必要がある施策としては、「認知症の早期発見、早期対応に対する取り組み」が47.7%、「認知症に関する知識の習得」が29.3%、「認知症の人と家族を支え見守るネットワークづくり」が26.4%となっている。

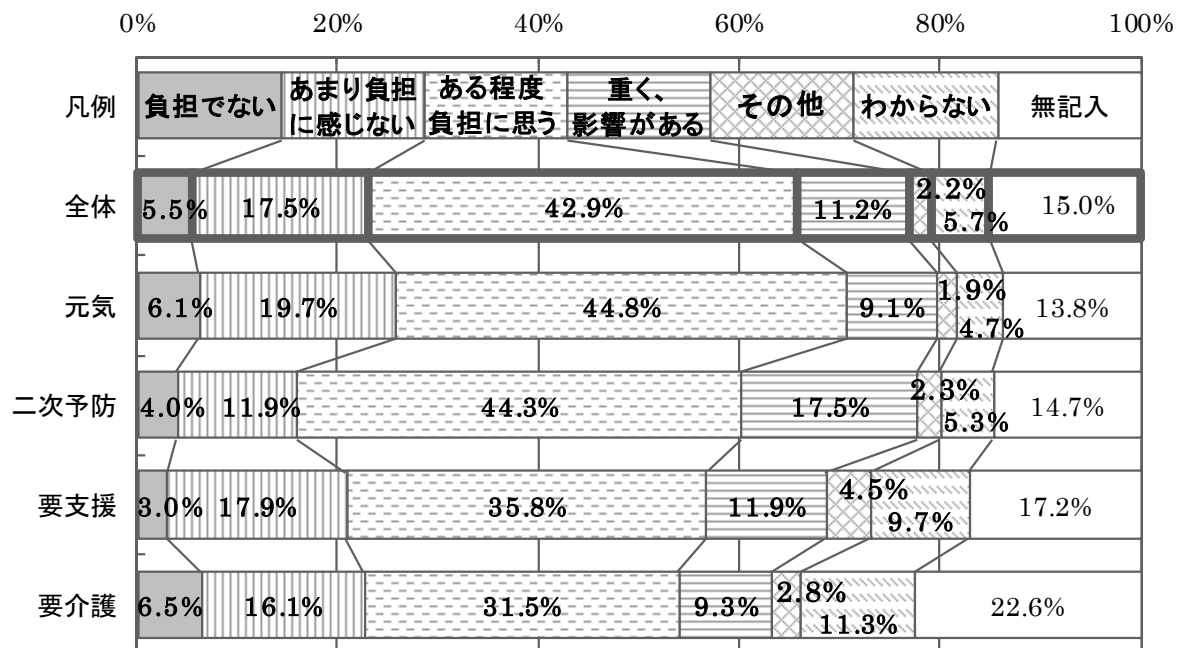
《優先的に取り組むべき施策》



3) 介護保険料について

介護保険料の負担感については、「ある程度負担に思う」が42.9%であり、「日常生活の中で、負担ではない」と「日常生活の中で、あまり負担には感じない」は合わせて23.0%となっている。

《介護保険料の負担感》



Ⅲ 居宅介護支援事業所等アンケート調査の結果

1. 事業所の概要

1) 職員数

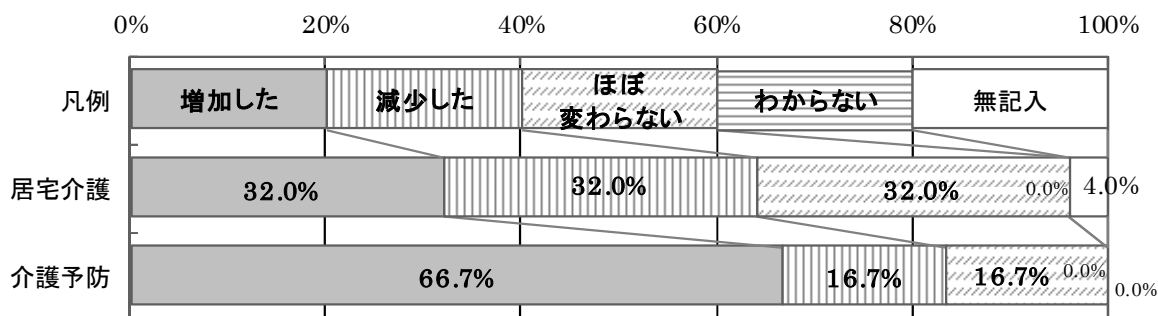
回答のあった 31 の事業所のうち、居宅介護支援事業所は 25 か所で、常勤職員が 65 人、非常勤職員が 18 人となっている。また、介護予防支援事業所は、6 か所すべてから回答があり、常勤職員が 19 人、非常勤職員が 5 人となっている。

	事業所数		勤務年数別職員数							
			1 年未満		1 年以上 3 年未満		3 年以上		合計	
	対象	回答	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
居宅介護 支援事業所	30	25	11 人	7 人	16 人	3 人	38 人	8 人	65 人	18 人
介護予防 支援事業所	6	6	6 人	1 人	2 人	2 人	11 人	2 人	19 人	5 人

2) ケアプランの担当件数

1 年前と比べてケアプランの担当件数は、“居宅介護支援事業所”は「増加した」「減少した」「ほぼ変わらない」が各 8 か所ずつで同数（32.0%）となっている。“介護予防支援事業所”は、「増加した」が 4 か所（66.7%）となっている。

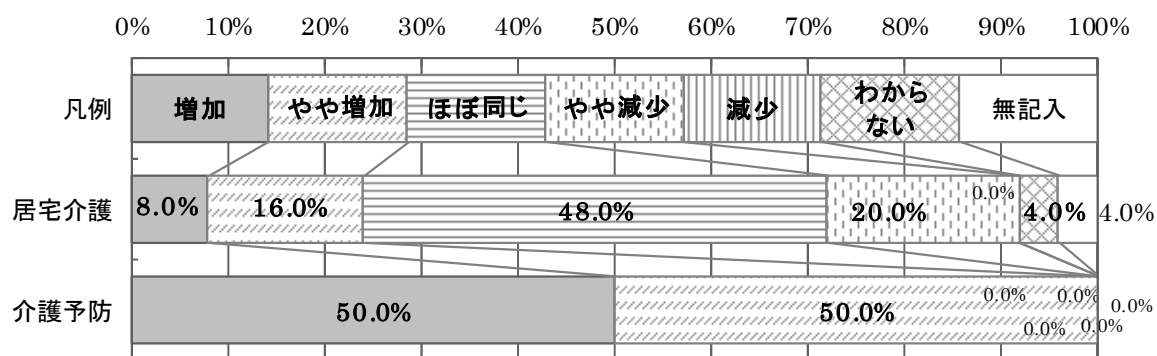
《ケアプラン担当件数の動向》



3) 利用者数の動向

1 年前と比べて利用者数は、“居宅介護支援事業所”は「ほぼ同じである」が 12 か所（48.0%）となっている。“介護予防支援事業所”は、「増加（2 割以上）している」と「やや増加（1 割程度）している」が各 3 か所ずつとなっている。

《利用者数の動向》

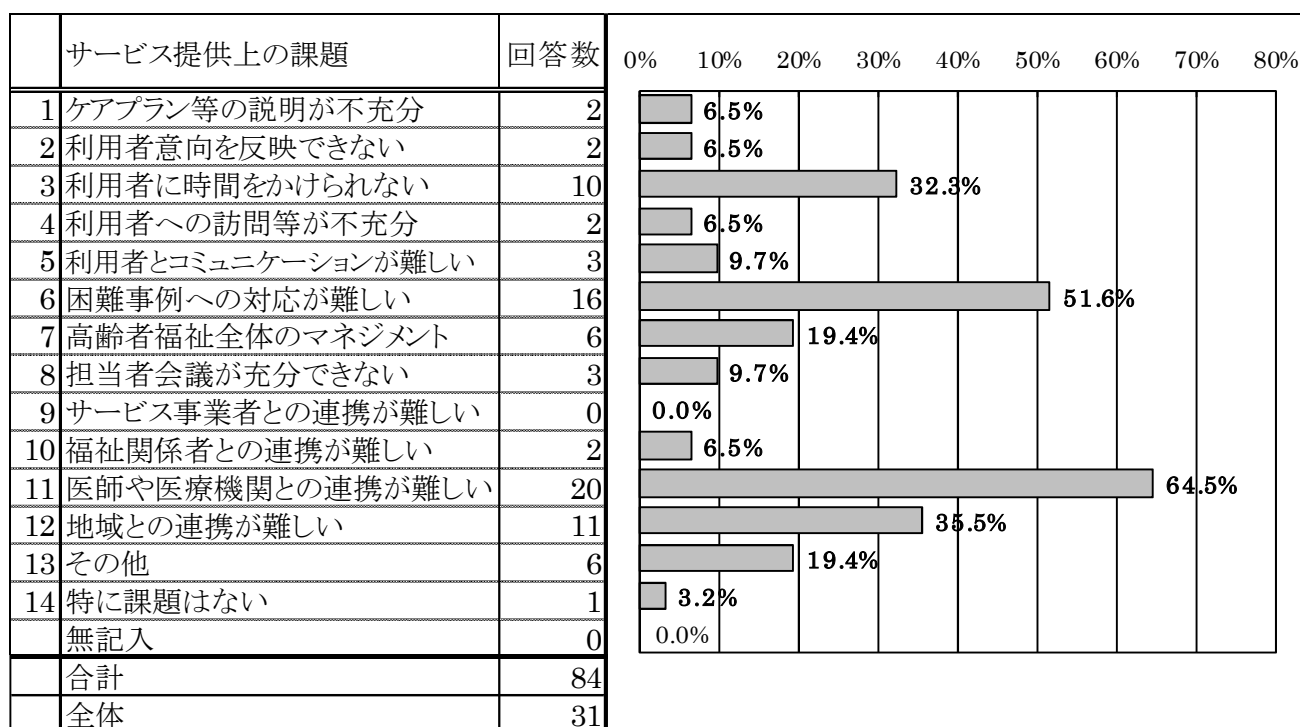


2. 課題等

1) サービス提供上の課題

サービス提供に際しての課題は、「医師や医療機関との連携が難しいこと」が 64.5%、「困難事例への対応が難しいこと」が 51.6%、「地域との連携が難しいこと」が 35.5%となっている。

《サービス提供上の課題》

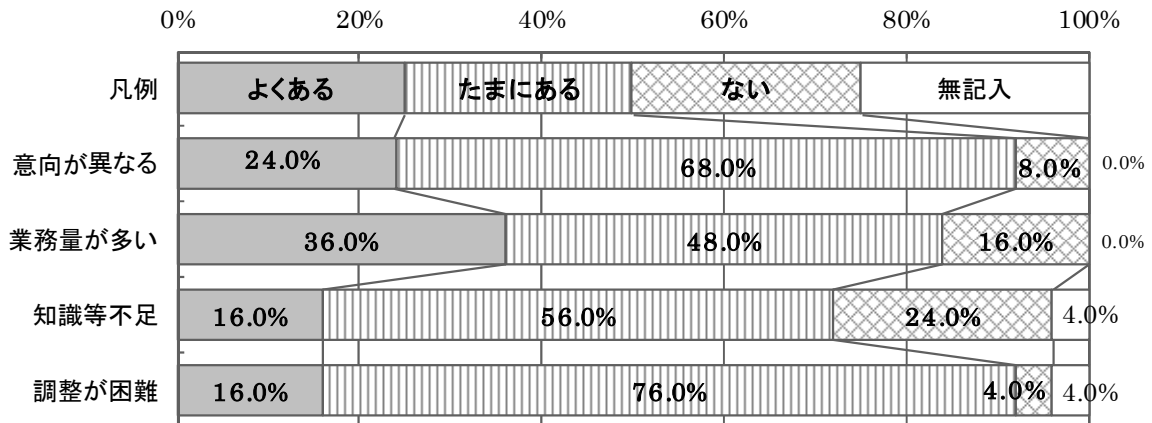


2) ケアマネジメント業務の際の課題

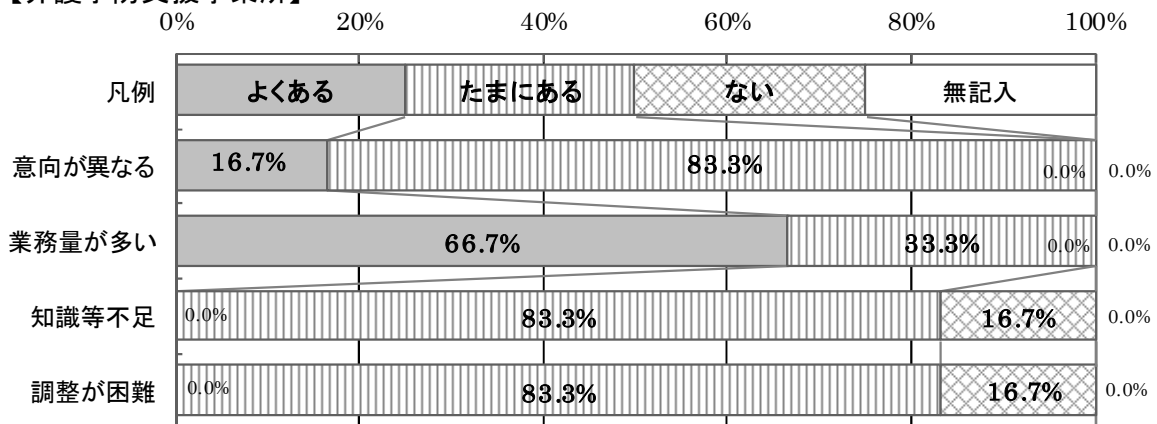
ケアマネジメント業務を行う際に、“利用者と家族で介護に対する意向が異なること”“職員の知識や理解が不足していると感じること”“サービスの調整が難しいこと”については、居宅介護支援事業所・介護予防支援事業所ともに「たまにある」が最も多くなっている。また、介護予防支援事業所は、“複数の事例に追われることが多い（業務量が多いこと）”が最も多くなっている。

《ケアマネジメント業務の際の課題》

【居宅介護支援事業所】



【介護予防支援事業所】



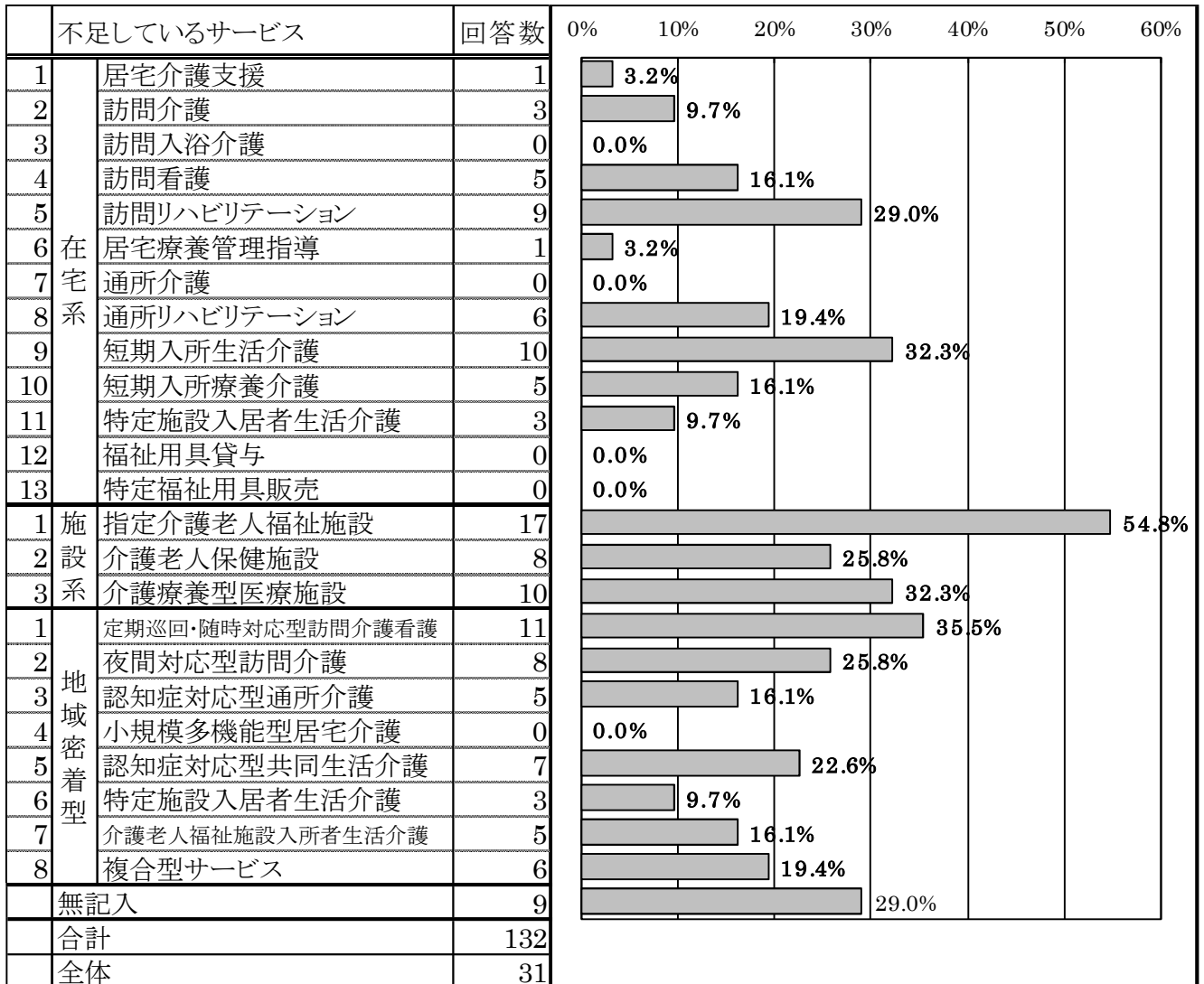
3) 生駒市で不足している介護サービス

本市で不足していると感じる介護サービスとしては、在宅系サービスでは、「短期入所生活介護」(32.3%)、「訪問リハビリテーション」(29.0%)があげられている。

施設系サービスでは、「指定介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)」が54.8%、「介護療養型医療施設(療養型病床)」が32.3%、「介護老人保健施設」が25.8%となっている。

地域密着型サービスでは「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が35.5%、「夜間対応型訪問介護」が25.8%となっている。

《本市で不足している介護サービス》

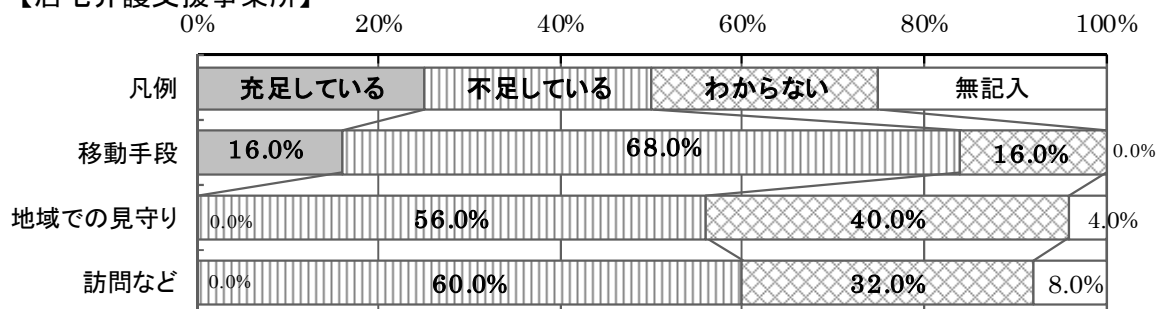


4) 生駒市におけるサービスの状況

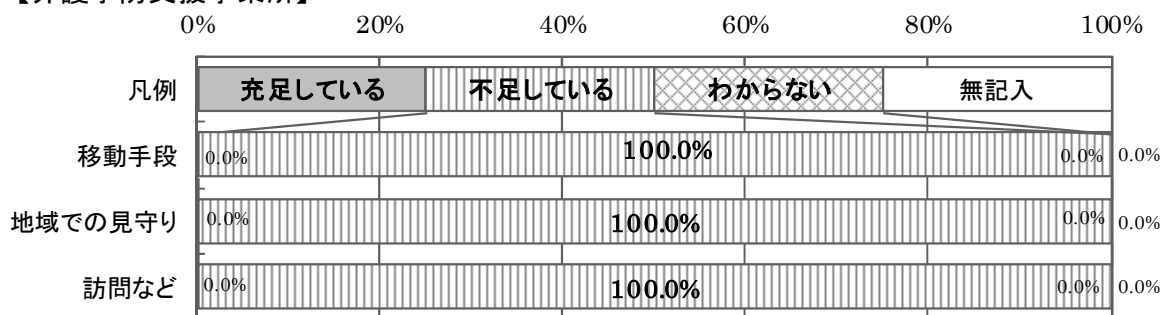
本市における“外出や買物、通院などの移動手段”“地域での見守り”“ボランティアなどによる訪問など”などのサービスについては、「不足している」が半数を超えている。

《本市におけるサービスの過不足の状況》

【居宅介護支援事業所】



【介護予防支援事業所】



IV 介護事業所アンケート調査の結果

1. 事業所の概要

1) 運営主体

回答のあった 97 の介護事業所のうち、同一の運営主体を整理すると、運営主体は「株式会社」が 20 社、「有限会社・合同会社」が 10 社、「社会福祉法人」が 6 社、「医療法人・社会医療法人」が 5 社、「NPO 法人」が 2 社、「財団法人」が 1 社となっている。

2) 提供しているサービスの種類

現在提供しているサービスは、「通所介護」が 32 か所（回答事業所は 29 か所）、「訪問介護」が 26 か所（同 21 か所）、「特定福祉用具販売」が 7 か所（同 7 か所）となっている。

《提供サービスの種類》

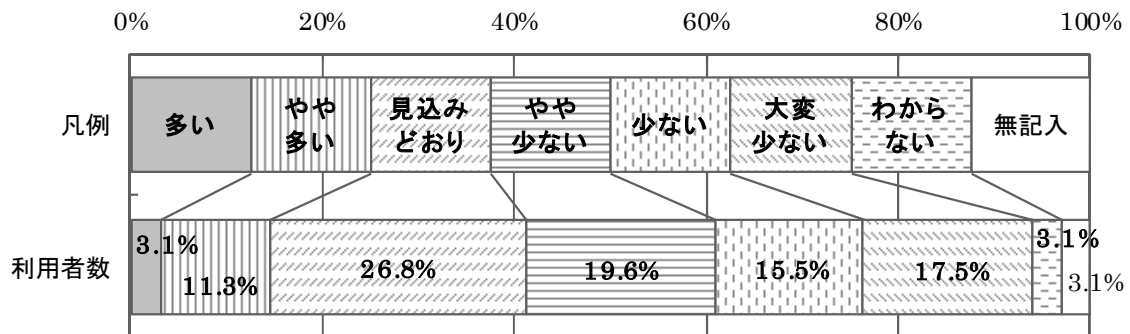
		対象事業所数	回答事業所数
1	訪問介護	26	21
2	訪問入浴介護	2	2
3	訪問看護	5	4
4	訪問リハビリテーション	3	2
5	通所介護	32	29
6	通所リハビリテーション	4	3
7	福祉用具貸与	6	6
8	短期入所生活介護	5	5
9	短期入所療養介護	2	1
10	特定施設入居者生活介護	5	5
11	特定福祉用具販売	7	7
12	指定介護老人福祉施設	5	5
13	指定介護老人保健施設	2	1
14	認知症対応型共同生活介護	3	2
15	認知症対応型通所介護	2	1
16	小規模多機能型居宅介護	4	3
	全体	113	97

2. 課題等

1) 見込みに対する利用者数

事業所の見込みに対しての利用者数は、「ほぼ見込みどおり」が 26.8%であり、「多い」「やや多い（1 割程度）」は合わせて 14.4%、「やや少ない（1 割程度）」「少ない（2 割以上）」「大変少ない（3 割以上）」が合わせて 52.6%となっている。

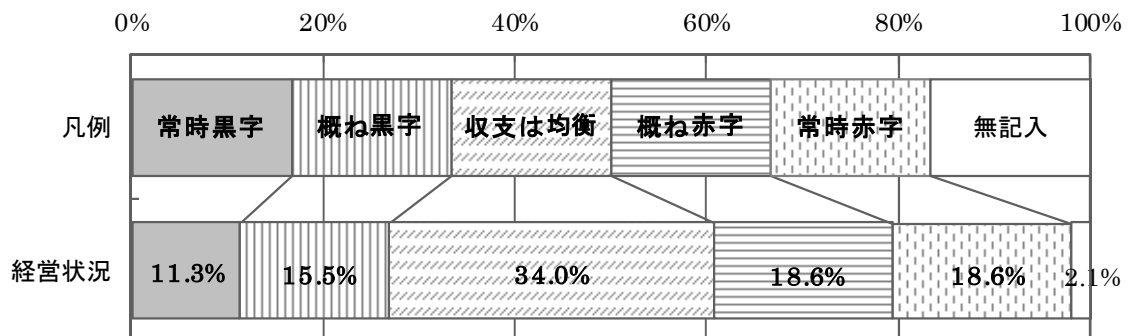
《見込みに対する利用者数》



2) 事業所の経営状況

事業所の経営状況は、「収支は均衡している」が 34.0%であり「常時黒字経営である」と「赤字経営の時もあるが概ね黒字経営である」が合わせて 26.8%、「常時赤字経営である」と「黒字経営の時もあるが概ね赤字経営である」が合わせて 37.2%となっている。

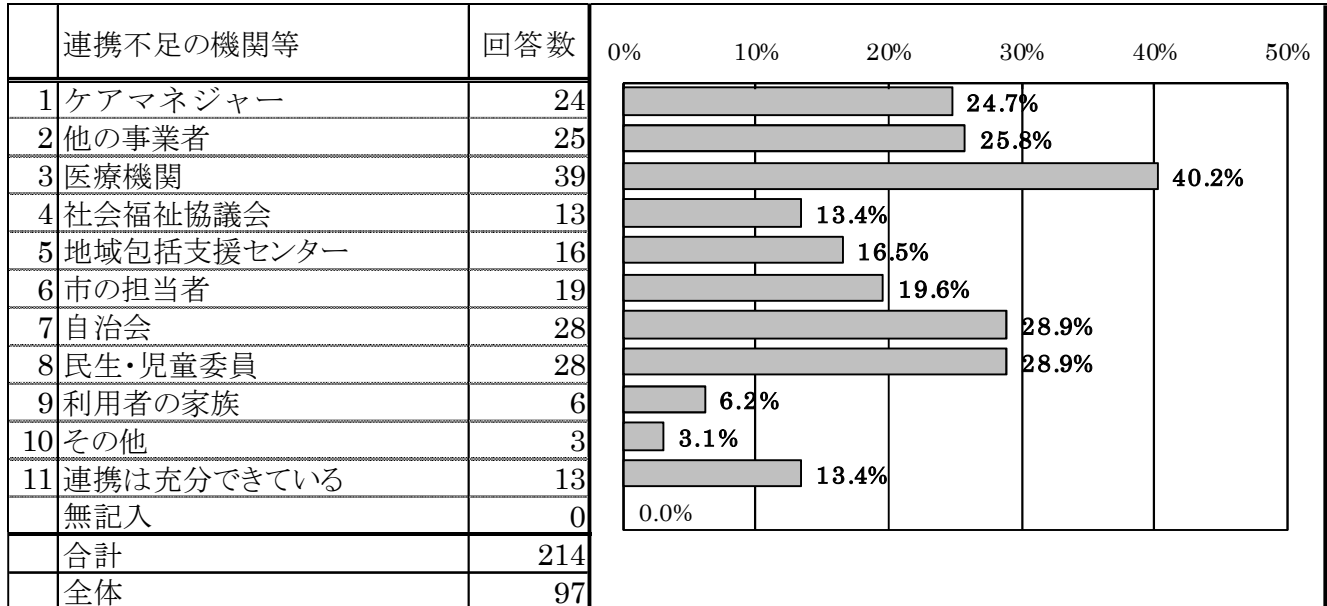
《事業所の経営状況》



3) 連携が不足している関係機関・関係者

連携が不足している関係機関・関係者は、「医療機関」が 40.2%、「自治会」「民生・児童委員」が 28.9%、「他の事業者」が 25.8%、「ケアマネジャー」が 24.7%となっている。

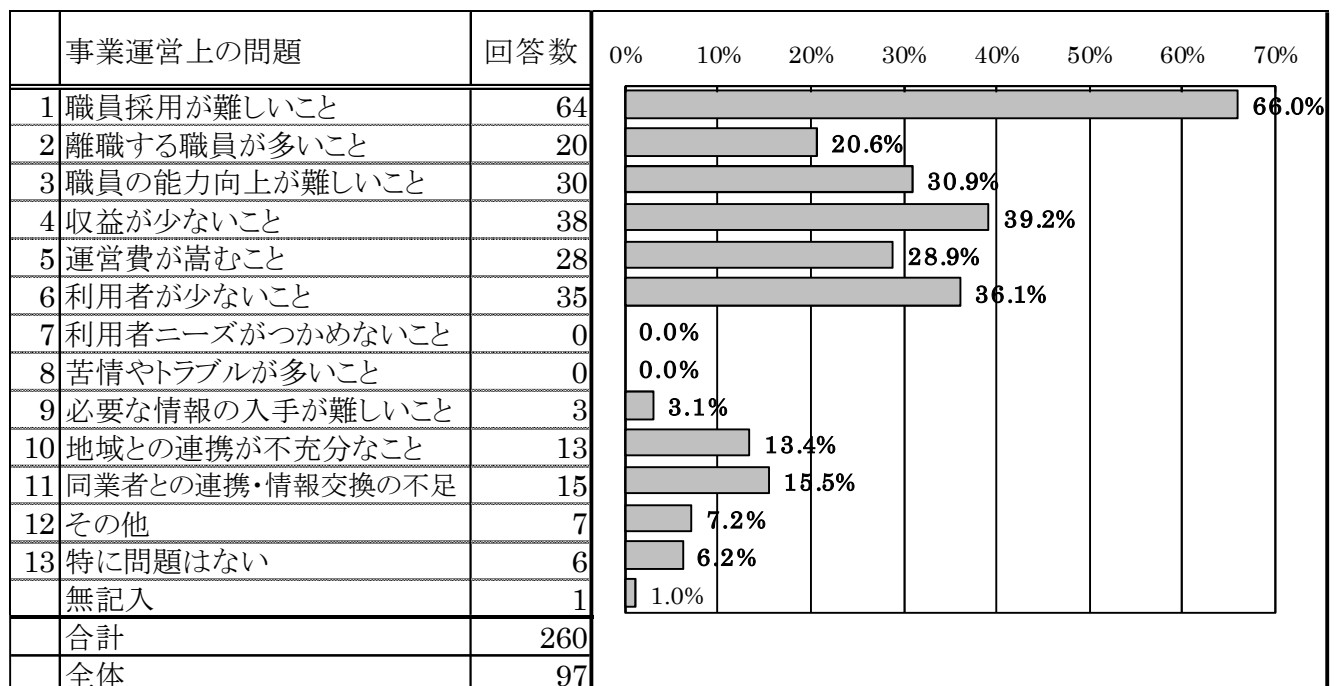
《連携が不足している関係機関・関係者》



4) 事業運営上の問題

事業運営上の問題としては、「職員の採用が難しいこと」が 66.0%、「収益が少ないこと」が 39.2%、「利用者が少ないこと」が 36.1%、「職員の能力向上が難しいこと」が 30.9%となっている。

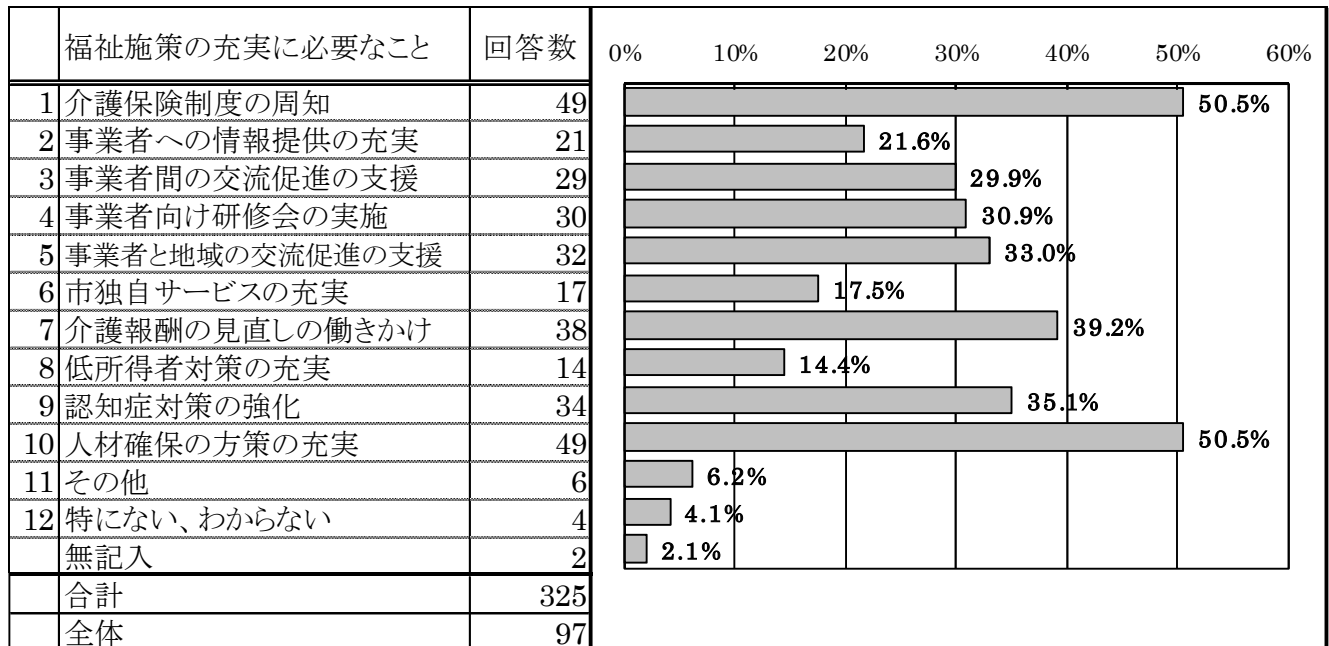
《事業運営上の問題》



5) 福祉施策を充実していくために必要なこと

今後、介護保険制度などの福祉施策を充実していくために必要なことは、「介護保険制度を周知すること」と「人材確保の方策を充実すること」がともに 50.5%、「介護報酬の見直しを働きかけること」が 39.2%、「認知症対策を強化すること」が 35.1%、「事業者と地域の交流促進を支援すること」が 33.0%となっている。

《福祉施策を充実していくために必要なこと》

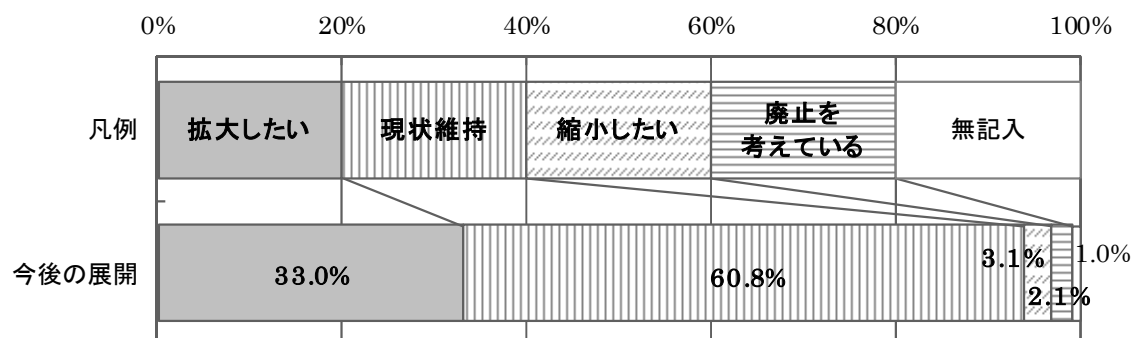


6) 今後の事業展開

現在提供している介護サービスの今後の事業展開（サービスの提供量）については、「現状維持」が 60.8%、「拡大したい」が 33.0%となっている。

なお、今後具体的にに取り組むことが考えられているサービスとしては「居宅介護支援」や「認知症対応型共同生活介護」などがあげられている。

《今後の事業展開》



★第6期介護保険事業計画策定のための市民意識調査★

【調査票】

調査票記入後は、3つ折りにし同封の返信用封筒に入れて、5月21日（水）までに投函してください。

記 入 日	平成 年 月 日
調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。	
1. あて名のご本人が記入	
2. ご家族が記入 （あて名のご本人からみた続柄_____）	
3. その他（ _____ ）	

※以下はあて名のご本人の情報を記入してください。

電 話 番 号	—
お 名 前	

生駒市介護保険課

は じ め に

皆様には、日頃から生駒市の市政全般にわたり、ご理解、ご協力をいただきお礼申し上げます。

さてこのほど、生駒市では、介護保険事業及び高齢者保健福祉施策等の充実を図るため、第6期生駒市介護保険事業計画並びに高齢者保健福祉計画を策定することといたしました。

つきましては、皆様の保健福祉に関わる生活状況やご意見などをお聞きし、計画づくりに反映させたいと考えているところでございます。

恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただきご協力くださるよう、よろしくお願いいたします。

なお、収集した個人情報は健康情報という利用者様にとって大切な個人情報であるという認識にたち、生駒市個人情報保護条例に基づく適正な取り扱いを行います。

平成26年5月

生駒市介護保険課

記 入 に 際 し て の お 願 い

1. この調査の対象者は、平成26年4月1日現在、65歳以上の方です。
2. ご回答にあたってはご本人についてお答えいただきますが、ご家族の方がご本人の代わりに回答されたり、と一緒に回答されてもかまいません。
3. ご回答にあたっては質問をよくお読みいただき、該当する番号を○で囲み、数字を記入する欄は右詰め（例、

0	6	2
---	---	---

 kg）でご記入ください。
4. この調査で使う用語の意味は、以下の通りです。
介護…介護保険のサービスを受けている場合のほか、認定を受けていない場合でも、
常時ご家族などの援助を受けている状態
介助…ご自分の意思により、一時的に他人に援助を頼んでいる状態
5. この調査についてのお問い合わせは下記までお願いいたします。
6. 調査票記入後は、3つ折りで同封の返信用封筒に入れてお送りください。

問合せ先 生駒市介護保険課
電話 74-1111
(内線 483~488)

質問の該当する答えの番号に○をつけ、数字記入欄は数字を記入してください。

問 1	あなたのご家族や生活状況について		
Q 1. 家族構成をお教えてください。			
1. 一人暮らし	2. 家族などと同居（二世帯住宅を含む）	3. その他（施設入居など）	
⇒Q2 へ	⇒Q1-1、2 へ	⇒Q2 へ	
（家族などと同居されている方のみ）			
Q 1-1. ご自分を含めて何人で暮らしていますか。また、同居されている方はどなたですか。（いくつでも）			
人			
1. 配偶者（夫・妻） 2. 息子 3. 娘 4. 子の配偶者 5. 孫 6. 兄弟・姉妹 7. その他			
Q 1-2. （家族などと同居されている方のみ）日中、一人になることがありますか。			
1. よくある 2. たまにある 3. ない			
Q 2. あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。			
1. 介護・介助は必要ない ⇒Q3 へ			
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない ⇒Q2-1 へ			
3. 現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む） ⇒Q2-1～3 へ			
Q 2-1. （介護や介助が必要な方のみ）介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。（いくつでも）			
1. 脳卒中（脳出血・脳梗塞 等） 2. 心臓病 3. がん（悪性新生物）			
4. 呼吸器の病気（肺炎・肺気腫 等） 5. 関節の病気（リウマチ 等） 6. 認知症（アルツハイマー病 等）			
7. パーキンソン病 8. 糖尿病 9. 視覚・聴覚障害 10. 骨折・転倒 11. 脊椎損傷			
12. 高齢による衰弱 13. その他（ ） 14. 不明			
Q 2-2. （介護や介助を受けている方のみ）主にどなたの介護・介助を受けていますか。			
1. 配偶者（夫・妻） 2. 息子 3. 娘 4. 子の配偶者 5. 孫 6. 兄弟・姉妹			
7. 介護サービスのヘルパー 8. その他（ ）			
Q 2-3. （介護や介助を受けている方のみ）主に介護・介助している方の年齢は、次のどれですか。			
1. 65 歳未満 2. 65～74 歳 3. 75～84 歳 4. 85 歳以上			
Q 3. 年金の種類は次のどれですか。			
1. 国民年金 2. 厚生年金（企業年金あり） 3. 厚生年金（企業年金なし）			
4. 共済年金 5. 無年金 6. その他			
Q 4. 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。			
1. 苦しい 2. やや苦しい 3. ややゆとりがある 4. ゆとりがある			
Q 5. お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。 1. 一戸建て 2. 集合住宅			
Q 6. お住まいは、次のどれにあたりますか。			
1. 持家 2. 民間賃貸住宅 3. 公営賃貸住宅（市・県営、都市機構、公社等） 4. 借間 5. その他			
Q 7. お住まい（主に生活する部屋）は 2 階以上にありますか。 1. はい 2. いいえ ⇒Q7-1 へ ⇒問 2 へ			
Q 7-1. （2 階以上の方）お住まいにエレベーターは設置されていますか。 1. はい 2. いいえ			

問2 運動・閉じこもりについて

Q 1. 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	1. はい	2. いいえ
Q 2. 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	1. はい	2. いいえ
Q 3. 15分位続けて歩いていますか。	1. はい	2. いいえ
Q 4. 5m以上歩けますか。	1. はい	2. いいえ
Q 5. 週に1回以上は外出していますか。	1. はい	2. いいえ
Q 6. 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。	1. はい	2. いいえ
Q 7. 外出を控えていますか。	1. はい	2. いいえ ⇒Q7-1へ ⇒Q8へ
Q 7-1. (外出を控えている方のみ) 外出を控えている理由は、次のどれですか。(いくつでも) 1. 病気 2. 障害(脳卒中の後遺症など) 3. 足腰などの痛み 4. トイレの心配(失禁など) 5. 耳の障害(聞こえの問題など) 6. 目の障害 7. 外での楽しみがない 8. 経済的に出られない 9. 交通手段がない 10. その他()		
Q 8. 買物、散歩で外出する頻度はどのくらいですか。(それぞれ1つ) A. 買物… 1. ほぼ毎日 2. 週4~5日 3. 週2~3日 4. 週1日 5. 週1日未満 B. 散歩… 1. ほぼ毎日 2. 週4~5日 3. 週2~3日 4. 週1日 5. 週1日未満		
Q 9. 外出する際の移動手段は何ですか。(いくつでも) 1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク 4. 自動車(自分で運転) 5. 自動車(人に乗せてもらう) 6. 電車 7. 路線バス 8. 病院や施設のバス 9. 車いす 10. 電動車いす(カート) 11. 歩行器・シルバーカー 12. タクシー 13. その他()		

問3 転倒について

Q 1. この1年間に転んだことがありますか。	1. はい	2. いいえ
Q 2. 転倒に対する不安は大きいですか。	1. はい	2. いいえ
Q 3. 背中が丸くなってきましたか。	1. はい	2. いいえ
Q 4. 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか。	1. はい	2. いいえ
Q 5. 杖を使っていますか。	1. はい	2. いいえ

問4 口腔・栄養について

Q 1. 6ヶ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。	1. はい	2. いいえ
Q 2. 身長 cm 体重 kg		
Q 3. 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	1. はい	2. いいえ
Q 4. お茶や汁物等でむせることがありますか。	1. はい	2. いいえ
Q 5. 口の渇きが気になりますか。	1. はい	2. いいえ
Q 6. 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。	1. はい	2. いいえ
Q 7. 定期的に歯科受診（健診を含む）をしていますか。	1. はい	2. いいえ
Q 8. 入れ歯を使用していますか。	1. はい	2. いいえ ⇒Q8-1、2へ ⇒Q9へ
Q 8-1. （入れ歯のある方のみ）噛み合わせは良いですか。	1. はい	2. いいえ
Q 8-2. （入れ歯のある方のみ）毎日入れ歯の手入れをしていますか。	1. はい	2. いいえ
Q 9. 1日の食事の回数は何回ですか。 1. 朝昼晩の3食 2. 朝晩の2食 3. 朝昼の2食 4. 昼晩の2食 5. 1食 6. その他		
Q 10. 食事を抜くことがありますか。 1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある 4. ほとんどない		
Q 11. 自分一人ではなく、どなたかと食事をとる機会がありますか。 1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある 4. 年に何度かある 5. ほとんどない ⇒Q11-1へ ⇒Q11-1へ ⇒Q11-1へ ⇒Q11-1へ ⇒問5へ		
Q 11-1. （どなたかと食事をとる機会がある方のみ）食事をとる人はどなたですか。 （いくつでも） 1. 家族 2. 近所の人や友人 3. デイサービスの仲間 4. その他		

問5 物忘れについて

Q 1. 周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあると言われますか。	1. はい	2. いいえ
Q 2. 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。	1. はい	2. いいえ
Q 3. 今日が何月何日かわからない時がありますか。	1. はい	2. いいえ
Q 4. 5分前のことが思い出せますか。	1. はい	2. いいえ
Q 5. その日の活動（食事をする、衣服を選ぶなど）を自分で判断できますか。 1. 困難なくできる 2. いくらか困難であるが、できる 3. 判断するときに、他人からの合図や見守りが必要 4. ほとんど判断できない		

Q6. 人に自分の考えをうまく伝えられますか。

1. 伝えられる 2. いくらか困難であるが、伝えられる 3. あまり伝えられない
4. ほとんど伝えられない

問6 日常生活について

Q 1. バスや電車で一人で外出していますか。(自家用車でも可)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

Q2. 日用品の買物をしていますか。

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
 $\Rightarrow Q3 \wedge$ $\Rightarrow Q2-1 \wedge$ $\Rightarrow Q2-1 \wedge$

Q2-1. (日用品の買物をしていない、できない方のみ) 日用品の買物をする人は主にどなたですか。

1. 同居の家族 2. 別居の家族 3. ヘルパー 4. 配達を依頼 5. その他

Q3. 自分で食事の用意をしていますか。

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
 $\Rightarrow Q4 \wedge$ $\Rightarrow Q3-1 \wedge$ $\Rightarrow Q3-1 \wedge$

Q3-1. (自分で食事の用意をしていない、できない方のみ) 食事の用意をする人は主にどなたですか。

1. 同居の家族 2. 別居の家族 3. ヘルパー 4. 配食サービス利用 5. その他

Q4. 請求書の支払いをしていますか。

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

Q5. 預貯金の出し入れをしていますか。

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

Q 6. 食事は自分で食べられますか。

1. できる 2. 一部介助（おかずを切ってもらうなど）があればできる 3. できない

Q7. 寢床に入るとき、何らかの介助を受けますか。

1. 受けない 2. 一部介助があればできる 3. 全面的な介助が必要

Q 8. 座っていることができますか。

1. できる 2. 支えが必要 3. できない

Q9. 自分で洗面や歯磨きができますか。

1. できる 2. 一部介助があればできる 3. できない

Q10. 自分でトイレができますか。

1. できる 2. 一部介助（他人に支えてもらう）があればできる 3. できない

Q 1 1. 自分で入浴ができますか。

1. できる 2. 一部介助（他人に支えてもらう）があればできる 3. できない

Q 1 2. 5 0 m 以上歩けますか。

1. できる 2. 一部介助（他人に支えてもらう）があればできる 3. できない

Q13. 階段を昇り降りできますか。 1. できる 2. 介助があればできる 3. できない

Q14. 自分で着替えができますか。 1. できる 2. 介助があればできる 3. できない

Q 1 5. 大便の失敗がありますか。	1. ない	2. ときどきある	3. よくある
Q 1 6. 尿もれや尿失禁がありますか。	1. ない	2. ときどきある	3. よくある
Q 1 7. 家事全般ができていますか。	1. できている	2. できていない	

問 7 社会参加について

Q 1. 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。	1. はい	2. いいえ
Q 2. 新聞を読んでいますか。	1. はい	2. いいえ
Q 3. 本や雑誌を読んでいますか。	1. はい	2. いいえ
Q 4. 健康についての記事や番組に関心がありますか。	1. はい	2. いいえ
Q 5. 友人の家を訪ねていますか。	1. はい	2. いいえ
Q 6. 家族や友人の相談にのっていますか。	1. はい	2. いいえ
Q 7. 病人を見舞うことができますか。	1. はい	2. いいえ
Q 8. 若い人に自分から話しかけることがありますか。	1. はい	2. いいえ
Q 9. 趣味はありますか。	1. はい	2. いいえ
Q 1 0. 生きがいがありますか。	1. はい	2. いいえ
Q 1 1. 以下のような会やグループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。		
（1）ボランティアのグループ		
1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない		
（2）スポーツ関係のグループやクラブ		
1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない		
（3）趣味関係のグループ		
1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない		
（4）老人クラブ		
1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない		
（5）町内会・自治会		
1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない		
（6）学習・教養サークル		
1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない		
（7）その他の団体や会		
1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない		

Q 1 2. 以下のような活動（社会参加活動や仕事）をどのくらいの頻度でしていますか。 （１）見守りが必要な高齢者を支援する活動 1. 週４回以上 2. 週２～３回 3. 週１回 4. 月１～３回 5. 年に数回 6. 参加していない
（２）介護が必要な高齢者を支援する活動 1. 週４回以上 2. 週２～３回 3. 週１回 4. 月１～３回 5. 年に数回 6. 参加していない
（３）子どもを育てている親を支援する活動 1. 週４回以上 2. 週２～３回 3. 週１回 4. 月１～３回 5. 年に数回 6. 参加していない
（４）地域の生活環境の改善（美化）活動 1. 週４回以上 2. 週２～３回 3. 週１回 4. 月１～３回 5. 年に数回 6. 参加していない
（５）収入のある仕事 1. 週４回以上 2. 週２～３回 3. 週１回 4. 月１～３回 5. 年に数回 6. 参加していない
Q 1 3. あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。 あてはまるものすべてに○をしてください。あてはまる人がいない場合は「8. そのような人はいない」に○をつけてください。
（１）あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも） 1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他（ ） 8. そのような人はいない
（２）反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも） 1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他（ ） 8. そのような人はいない
（３）あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも） 1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他（ ） 8. そのような人はいない
（４）反対に、看病や世話をしてあげる人（いくつでも） 1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他（ ） 8. そのような人はいない
Q 1 4. 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。（いくつでも） 1. 自治会・町内会・老人クラブ 2. 社会福祉協議会・民生委員 3. ケアマネジャー 4. 医師・歯科医師・看護師 5. 地域包括支援センター・市役所 6. その他 7. そのような人はいない
Q 1 5. 友人関係についておうかがいします。 （１）友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。 1. 週４回以上 2. 週２～３回 3. 週１回 4. 月１～３回 5. 年に数回 6. 会っていない
（２）この１ヶ月間、何人の友人・知人と会いましたか。 同じ人には何度会っても１人と数えることとします。 1. ０人（いない） 2. １～２人 3. ３～５人 4. ６～９人 5. １０人以上
（３）よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。（いくつでも） 1. 近所・同じ地域の人 2. 幼なじみ 3. 学生時代の友人 4. 仕事での同僚・元同僚 5. 趣味や関心が同じ友人 6. ボランティア等の活動での友人 7. その他 8. いない

問8 健康について

Q 1. 普段、ご自分で健康だと思いますか。

1. とても健康 2. まあまあ健康 3. あまり健康でない 4. 健康でない

Q 2. 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(いくつでも)

1. 高血圧 2. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) 3. 心臓病 4. 糖尿病 5. 高脂血症(脂質異常)
6. 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等) 7. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 8. 腎臓・前立腺の病気
9. 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等) 10. 外傷(転倒・骨折等) 11. がん(新生物)
12. 血液・免疫の病気 13. うつ病 14. 認知症(アルツハイマー病等) 15. パーキンソン病
16. 目の病気 17. 耳の病気 18. その他() 19. ない

Q 3. 現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいますか。

1. 1種類 2. 2種類 3. 3種類 4. 4種類 5. 5種類以上 6. 飲んでいない

Q 4. 現在、病院・医院(診療所、クリニック)に通院していますか。 1. はい 2. いいえ
⇒Q4-1、2へ ⇒Q5へ

Q 4-1. (通院している方のみ) その頻度は次のどれですか。

1. 週1回以上 2. 月2~3回 3. 月1回程度 4. 2ヶ月に1回程度 5. 3ヶ月に1回程度

Q 4-2. (通院している方のみ) 通院に介助が必要ですか。 1. はい 2. いいえ

Q 5. 以下の在宅サービスを利用していますか。(いくつでも)

1. 訪問診療(医師の訪問) 2. 訪問介護 3. 夜間対応型訪問介護 4. 訪問入浴介護
5. 訪問看護 6. 訪問リハビリテーション 7. 通所介護(デイサービス)
8. 認知症対応型通所介護 9. 通所リハビリテーション(デイケア)
10. 小規模多機能型居宅介護 11. 短期入所(ショートステイ)
12. 医師や薬剤師などによる療養上の指導(居宅療養管理指導)
13. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 14. 複合型サービス 15. その他()

Q 6. お酒は飲みますか。

1. ほぼ毎日飲む 2. 時々飲む 3. ほとんど飲まない 4. もともと飲まない

Q 7. タバコは吸っていますか。

1. ほぼ毎日吸っている 2. 時々吸っている 3. 吸っていたがやめた 4. もともと吸っていない

Q 8. (ここ2週間) 毎日の生活に充実感がない。 1. はい 2. いいえ

Q 9. (ここ2週間) これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった。 1. はい 2. いいえ

Q 10. (ここ2週間) 以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられる。 1. はい 2. いいえ

Q 11. (ここ2週間) 自分が役に立つ人間だと思えない。 1. はい 2. いいえ

Q 12. (ここ2週間) わけもなく疲れたような感じがする。 1. はい 2. いいえ

問 9 生駒市の高齢者福祉について

Q 1. あなたは、高齢者支援、健康づくり、自治会、防災・防犯、環境美化、子育て支援などの地域活動・ボランティア活動を役員やスタッフとして関わっていますか。

1. 現在、継続的に関わっている（1 週間に 1 回以上）
2. たまに、関わったことがある（半年に 1 回以上）
3. 以前関わったことがあるが、現在はほとんどしていない
4. 関わったことはない

Q 2. あなたは、今後、Q 1 のような地域活動・ボランティア活動などに関わっていきたいと考えていますか。

1. 積極的に関わっていきたい ⇒Q2-1 へ
2. できるだけ、関わっていきたい ⇒Q2-1 へ
3. 機会があれば、関わってもよい ⇒Q2-1 へ
4. 関わりたいが、できない
できない理由は何ですか（簡潔に：_____）
5. あまり関わりたくない

Q 2-1.（Q 2 で 1～3 と答えた方のみ）あなたは、どのようなことがあれば、活動が活発になるとおもいますか。（いくつでも）

1. 活動情報の提供があること
2. 活動や団体を紹介してくれること
3. 友人などといっしょに参加できること
4. 時間や期間にあまりしばられないこと
5. 身近なところで活動できること
6. 適切な指導者やリーダーがいること
7. 身体的な負担が少ないこと
8. 金銭的な負担が少ないこと
9. 活動に対する一定の収入や助成があること
10. その他（具体的に：_____）
11. わからない

Q 3. あなたがお住まいの地域には、地域のつながり（住民同士の助け合い・支え合いなど）はあると感じますか。

1. とても感じる
2. 少し感じる
3. あまり感じない
4. 感じない
5. わからない

Q 4. あなたは暮らしの中で、地域のつながり（住民同士の助け合い・支え合いなど）は必要だと思いませんか。

1. とても必要だと思う
2. どちらかといえば、必要だと思う
3. どちらかといえば、必要ないと思う
4. 必要ないと思う
5. わからない

Q 5. あなたは、地域において高齢者が気軽に参加できる居場所（サロンや体操教室、囲碁、カラオケ、集会所の催しなど）があれば、どのくらいの頻度で参加したいですか。

1. 週 1 回以上
2. 2 週間に 1 回程度
3. 1 ヶ月に 1 回程度
4. 数ヶ月に 1 回程度
5. 1 年に 1 回程度
6. 参加したくない
7. わからない

Q 6. 高齢者の権利や生活を守るための制度や相談窓口として次のようなものがありますが、あなたの知っているものはありますか。(いくつでも)

1. **地域福祉権利擁護事業**……判断能力が不十分な人に対して、福祉サービスの利用や日常的な金銭管理等を支援する仕組み
2. **成年後見制度**……判断能力が不十分であるために、意思決定が困難である人の判断能力を後見人等が補っていくことによって、法的に保護する制度
3. **ひとり暮らし高齢者調査**……満 65 歳以上のひとり暮らし高齢者を民生委員が訪問し、緊急時対応の連絡先などの実態把握を目的に毎年実施
4. **消費生活センター**……買物相談をはじめ、悪質商法の被害など、市民の消費生活に関するさまざまなトラブルや相談に対応
5. **地域包括支援センター**……住み慣れた地域でその人らしい生活を送ることができるよう、介護予防サービスをはじめ、さまざまなサービスを包括的に提供する総合的な相談窓口
6. **社会福祉協議会**……地域の中で安心した生活を送ることができるよう、福祉関係者や地域住民が主体となり、社会福祉と保健衛生などの活動を展開

Q 7. あなたは、高齢者虐待に関する次の内容を知っていますか。(いくつでも)

1. 法律の目的は、高齢者の権利利益の擁護であり、虐待する者を罰することではないこと
2. 虐待の一つが身体的虐待であること(身体に外傷が生じるような暴力など)
3. 虐待の一つが放棄・放任であること(食事をとらせない、長時間の放置など)
4. 虐待の一つが心理的虐待であること(著しい暴言や脅し、侮辱、無視、嫌がらせなど)
5. 虐待の一つが性的虐待であること(高齢者にわいせつな行為をすることなど)
6. 虐待の一つが経済的虐待であること(高齢者の財産を不当に処分したり、本人の合意なしに金銭を使用したりすることなど)
7. 高齢者虐待が高齢者本人・養護者ともに自覚をしているか問わないこと
8. いずれも知らない

Q 8. あなたは、仮に身の回りのことを自分でできなくなったとき、どこで生活したいと思いますか。第 1 希望から第 3 希望について、下記の番号をご記入ください。

①第 1 希望 () ②第 2 希望 () ③第 3 希望 ()

1. **自宅**……在宅介護サービスなどを利用
2. **高齢者専用賃貸住宅**……入居者を高齢者に限定した高齢者向けの居室や設備の条件が定められている住宅
3. **小規模多機能施設**……利用者の状態や必要に応じて、「通い」「泊まり」「訪問」のサービスを組み合わせて提供する在宅介護サービス
4. **介護付き有料老人ホーム**……民間事業者によって運営される介護施設であり、施設内容や料金などによって選択が可能
5. **認知症対応型グループホーム**……認知症の方が、家庭的な環境と地域住民との交流の下で、食事や入浴などの日常生活上の支援や機能訓練などのサービスを受ける施設
6. **介護施設**……要介護認定を受けた方が入所できる特別養護老人ホームや介護老人保健施設
7. その他(具体的に: _____)
8. わからない

Q 9. あなたは、在宅生活を続ける上で、現在もしくは今後利用したいと思う有償サービスや取り組みはどれですか。(いくつでも)

1. 外出支援（買い物や通院等）
2. 調理支援
3. 掃除支援
4. ごみ出しや電球の交換など
5. 配食サービス
6. 会食サービス
7. 見守りや声掛け
8. 話し相手
9. 体操・運動レッスン
10. 緊急時の通報システム
11. 金銭管理（成年後見制度等）
12. その他（具体的に：_____）

Q 10. 自宅で介護を行う家族のためにあると良いと思う支援は、次のうちどれですか。(いくつでも)

1. 家族介護者教室（介護の知識や技術の指導）
2. 紙おむつ等支給事業
3. 介護者相互の交流会や親睦会
4. 介護者の代わりに認知症の在宅高齢者の見守りや話し相手をするなどの支援員の派遣
5. 介護者がリフレッシュできる企画（_____）
6. その他（具体的に：_____）

Q 11. あなたは、生駒市の高齢者保健福祉施策として、特に力を入れるべきことは次のうちどれだと思いますか。(3つまで)

1. 趣味や生きがいづくり、社会参加への支援
2. 働く機会や場所づくり
3. ボランティアや地域活動の充実
4. 介護が必要にならないための健康づくりなどの支援
5. 自立生活のための家事（炊事・洗濯・掃除など）についての指導やサポート
6. 介護保険サービスの充実（ホームヘルプサービス、デイサービス、ショートステイ）
7. ひとり暮らしなどの高齢者見守りや支え合う地域づくりへの支援
8. 地域における高齢者の総合相談機能（地域包括支援センター）の充実
9. 移送サービスや公共交通などの交通機関の充実
10. 住まいの改修（リフォーム）に関する情報提供等の支援
11. 段差などがなく利用しやすい公共施設・交通機関の整備
12. 特別養護老人ホームやグループホームなどの入所施設の整備
13. 医療費の自己負担分や介護保険料を助成する事業
14. その他（具体的に：_____）
15. わからない

問 10 健康づくり・介護予防・認知症について

Q 1. あなたは、今後、健康を維持するためにどのようなことが必要だと思いますか。（いくつでも）

1. 定期的な健康診断 2. がん検診 3. 歯の健康に関する相談
4. 食事や栄養バランス等に関する相談 5. 運動ができる場や機会等に関する情報提供
6. 禁煙に関する相談 7. 地域での自主的な健康づくり活動への支援
8. 健康づくりについて学ぶ場の提供 9. 使ってみたいサービスはない 10. わからない

Q 2. 脱水症を予防するためには、一般的には1日に約 1,500ml 以上の水分摂取が必要といわれています。あなたは、コップ 1 杯 200ml として 1 日どの程度水分を摂取していますか。

1. コップ3杯以下 2. コップ4～5杯程度 3. コップ6～7杯程度 4. コップ8杯以上

Q 3. 生駒市では、認知症予防や寝たきりを防止するためにさまざまな介護予防事業を実施しています。あなたは、次の事業を知っていますか。（いくつでも）

1. わくわく教室……閉じこもり防止のための健康体操やレクリエーションをみんなで行う教室
2. 高齢者体操教室（のびのび教室）…運動によって体の機能を維持・向上させる教室
3. 高齢者体操教室（地域型）…運動によって体の機能を維持・向上させる住民主体の教室
4. 脳の若返り教室……認知症予防のための脳を鍛える教室
5. 物忘れ相談……物忘れや認知症状の悩みや相談に対しての精神科医師による相談
6. 介護予防教室……地域包括支援センターによる介護予防の基本を学ぶ教室
7. パワーアップ教室…外出が困難な方の筋力や体力を向上させる教室
8. ひまわりの集い……レクリエーションや会食などで仲間づくりを行うサロン
9. 転倒予防教室……転倒予防のための体作りの運動教室
10. いずれも知らない

Q 4. あなたは、介護予防のために普段どのような取り組みをしていますか。（いくつでも）

1. 散歩やジョギングをしている
2. ラジオ体操や健康体操などの運動をしている
3. バランスのとれた食生活をしている
4. 歯や口の中の衛生に気を配っている
5. 認知症予防に取り組んでいる（クロスワードパズル、囲碁、将棋、ゲームなど）
6. その他（具体的に：_____）
7. 特にない

Q 5. あなたは、介護予防について知りたいことはありますか。（いくつでも）

1. 転倒・骨折予防の運動について 2. 望ましい食生活について
3. 認知症予防や認知症の症状について 4. うつ・閉じこもり予防について
5. 寝たきり予防について 6. 歯や口の健康について
7. その他（具体的に：_____）
8. 特にない

Q 6. あなたは、健康づくりや介護予防事業に参加するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(いくつでも)

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. 身近な地域で行われること | 2. 料金が無料または安いこと |
| 3. 一緒に参加する仲間がいること | 4. 参加した効果が実感できること |
| 5. 送迎などのサービスがあること | 6. 事前に内容などがくわしくわかること |
| 7. その他(具体的に: _____) | |
| 8. どのような条件でも参加したいと思わない | 9. わからない |

Q 7. 認知症は、多くの人がかかる可能性のある病気で、認知症の方やご家族を支える地域づくりが重要な課題となっていますが、あなたは、認知症に関する次の内容を知っていますか。(いくつでも)

1. 脳の障害によって、記憶力・判断力・理解力が低下する病気であり、多くの人がかかる可能性があること
2. 原因や状態によっては、早期に発見し適切な治療を受けることによって、症状を軽くしたり、進行を遅らせることができること
3. 何もわからなくなってしまうわけではなく、感情やプライドは保たれるため、本人は多くの不安や混乱を抱えていること
4. 環境の変化への適応が難しくなるため、住み慣れた家庭や地域の暮らしの中で、生活することが大切であること
5. 徘徊などの行動には原因があり、無理に抑え込むのではなく、接し方を工夫したり、周りの環境を整えることが大切であること
6. いずれも知らない

Q 8. 高齢化の進展により、認知症を有する人も増えています。あなたは、安心して暮らせるために、生駒市ではどのような施策に優先的に取り組む必要があると思いますか。(3つまで)

1. 認知症に関する知識の習得
2. 情報交換を行う家族の会や介護教室の充実
3. 誰もが気軽に参加でき、集う場である認知症カフェの実施
4. 認知症の人と家族を支え見守るネットワークづくり
5. 若年性認知症の人が利用できるサービスや就労支援等の充実
6. 身近な地域での「認知症予防教室・認知症サポーター養成講座」の実施
7. デイサービス施設等での認知症の予防やケアの充実
8. 認知症の早期発見、早期対応に対する取り組み
9. その他(具体的に: _____)
10. わからない

Q 9. あなたは、介護保険料についてどのように感じられていますか。

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1. 日常生活の中で、負担ではない | 2. 日常生活の中で、あまり負担には感じない |
| 3. ある程度負担に思う | 4. 負担が重く、生活に影響がある |
| 5. その他(具体的に: _____) | |
| 6. わからない | |

問 1 1 その他

最後に、高齢者の保健・福祉について、ご記入された以外のご意見、ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

The image is entirely black and contains no visible content.

ご協力ありがとうございました。

記入もれがないか、今一度お確かめください。

記入した調査票を切り離さずに送付されたものすべて（表紙も含みます）を3つ折りにして同封した返信用封筒に入れ、切手を貼らずに5月21日（水）までにポストに投函してください。

なお、本調査の結果によっては、介護予防などのサービスが必要であると思われる方には、あらためて、生駒市介護保険課もしくは、担当地域の地域包括支援センターよりご連絡させていただく場合があります。

第6期介護保険事業計画策定のための居宅介護支援事業所・
介護予防支援事業所向けアンケート
【調査票】

調査票記入後は、3つ折りにし同封の返信用封筒に
入れて、5月21日（水）までに投函してください。

記入日	平成 年 月 日
サービス種類	居宅介護支援
事業所名	特定非営利活動法人 ○△事業所 ----- (記入された方の役職：_____)
電話番号	

生駒市介護保険課

は じ め に

事業所の皆様には、日頃から生駒市の介護福祉行政に、ご理解、ご協力いただきまして誠にありがとうございます。

このほど、生駒市では介護保険事業及び高齢者保健福祉施策の充実を図るため、第6期生駒市介護保険事業計画並びに高齢者保健福祉計画を策定することといたしました。

つきましては、この策定をするにあたり、事業所の皆様の業務に関わる忌憚のないご意見を伺い、計画づくりに反映させたいと考えているところです。

恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただきご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

なお、収集した情報につきましては、計画策定のための資料としてのみ活用され、その他の目的で使用されることは一切ありません。

平成26年5月

生駒市介護保険課

記 入 に 際 し て の お 願 い

1. この調査は、平成26年5月1日を基準日としてお答えください。
2. 同一法人様宛にアンケートが複数届く場合がありますが、サービス種類ごとに回答をお願いいたします。
3. 事業所所属のケアマネジャー個別の調査ではないため、事業所内でケアマネジャー皆様の意見を聞くなどし、意見を取りまとめていただき、事業所を代表して記入していただきますようお願いいたします。
4. 各質問のご回答については、該当する番号に○印をつけてください。その際、質問により1つのみ回答いただくものと、複数をご回答いただくものがありますので、ご注意ください。また、人数を入れていただく箇所については 人、(人) の空いているところにご記入ください。
5. ご回答いただく際に、「その他」を選択される場合には、その番号を○で囲み、() 内にその内容をできるだけ具体的にご記入ください。
6. すべての質問へのご記入が済みましたら、お手数ですが、3つ折にし同封の返信用封筒に入れて、5月21日（水）までに投函してください。
7. この調査についてのお問い合わせは下記までお願いいたします。

問合せ先	生駒市介護保険課
電話	74-1111
(内線)	482~488)

問 1. 貴事業所（生駒市内に限る）に勤務しているケアプラン作成担当者の人数を、貴事業所での勤務年数ごとに、常勤と非常勤に分けてご記入ください。（他の職務を兼務している人も含みます）。

※ ケアプラン作成担当者とは介護支援専門員及び地域包括支援センター職員を言います。

	勤続年数		
	1 年未満	1 年以上 3 年未満	3 年以上
常勤	人	人	人
非常勤	人	人	人

問 2. 貴事業所では、ケアプラン作成担当者人数は足りていますか。（○は 1 つだけ）

1. 非常に不足している 2. 不足している
3. 足りている 4. わからない

→ 問 2-1. 不足している原因は何だと思えますか。（○は 1 つだけ）

1. 雇用したいが募集しても応募がないため
2. 利用者が少ないため、雇用できないため
3. その他（具体的に：_____）

問 3. 貴事業所のケアプラン担当件数は 1 年前と比較して増減しましたか。（○は 1 つだけ）

1. 増加した 2. 減少した
3. ほぼ変わらない 4. わからない

→ 問 3-1. 過不足している原因は何だと思えますか。（○は 1 つだけ）

1. 利用者の増減のため
2. 作成担当ケアマネの増減のため
3. その他（具体的に：_____）

問 4. 貴事業所の利用者数（相談件数など）は、1 年前と比べてどのような状況ですか。（○は 1 つだけ）

1. 増加（2 割以上）している 2. やや増加（1 割程度）している
3. ほぼ同じである
4. やや減少（1 割程度）している 5. 減少（2 割以上）している
6. わからない

→ 問 4-1. 減少している理由は何だと思えますか。

理由（簡潔に：_____）

問 5. 貴事業所の居宅介護支援事業の収支はどのようになっていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 黒字である | 2. ほぼ均衡している |
| 3. やや赤字である | 4. かなり赤字である |
| 5. わからない | |

問 5-1. 赤字の理由は何だと思えますか。(○は1つだけ)

1. 利用者が少ないため
2. その他(具体的に: _____)

問 6. 貴事業所がサービスを提供するうえで課題ととらえられていることは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 契約やサービスについての説明が十分できていないこと
2. ケアプランに利用者や家族の意向を十分反映できていないこと
3. 利用者1人に十分な時間をかけられないこと
4. 利用者への訪問・連絡が不十分なこと
5. 利用者や家族とのコミュニケーションが難しいこと
6. 困難事例への対応が難しいこと
7. 高齢者福祉全体に渡るマネジメントが難しいこと
8. 担当者会議を十分開けないこと
9. サービス提供事業者との連携が難しいこと
10. その他の福祉関係者との連携が難しいこと
11. 医師や医療機関との連携が難しいこと
12. 地域との連携が難しいこと
13. その他(具体的に: _____)
14. 特に課題となっていることはない

問 7. 貴事業所では、これまでに利用者や家族から、次のような相談や苦情を受けたことがありますか。(あてはまるもの番号すべてをお書きください)

(1) 相談(_____) (2) 苦情(_____)

1. 説明や契約内容がわかりにくい
2. 契約やサービスの内容が考えていたのと違う
3. サービスを希望通り受けられない
4. ケアマネジャーの対応に不満がある
5. ケアマネジャーの連絡や訪問が少ない
6. 経済的負担が大きい
7. ヘルパーやサービス内容に不満がある
8. その他(具体的に: _____)
9. 相談や苦情を受けることはない

問 8. 貴事業所では、最近 1 年間にケアプラン作成担当者が研修を受ける機会がありましたか。それぞれについて受けた人数をお書きください。

- ① 職場内・外両方の研修を受けた (____人)
- ② 職場内研修のみを受けた (____人)
- ③ 職場外研修のみを受けた (____人)
- ④ 研修を受ける機会がなかった (____人)

問 9-1. 貴事業所として、生駒市で不足していると感じる介護保険サービスはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

サービスの種類		生駒市で不足している と感じている介護保険 サービス
在宅系	1. 居宅介護支援	
	2. 訪問介護	
	3. 訪問入浴介護	
	4. 訪問看護	
	5. 訪問リハビリテーション	
	6. 居宅療養管理指導	
	7. 通所介護	
	8. 通所リハビリテーション	
	9. 短期入所生活介護	
	10. 短期入所療養介護	
	11. 特定施設入居者生活介護	
	12. 福祉用具貸与	
	13. 特定福祉用具販売	
施設系	1. 指定介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	
	2. 介護老人保健施設	
	3. 介護療養型医療施設（療養型病床等）	
地域密着型	1. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	
	2. 夜間対応型訪問介護	
	3. 認知症対応型通所介護（認知症デイ）	
	4. 小規模多機能型居宅介護	
	5. 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	
	6. 地域密着型特定施設入居者生活介護（小規模特定施設）	
	7. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護（小規模特養）	
	8. 複合型サービス	

問 9-2. 次の地域密着型サービスについて、お聞きします。（それぞれについてあてはまるものすべてに○）

(1) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護の内容

1. サービス内容は十分に理解している
2. サービス内容を具体的に良く知らない
3. 利用者から利用希望を受けたことがある
4. 利用者から利用希望を受けたことはない
5. その他（具体的に：_____）

(2) 小規模多機能型居宅介護

1. サービス内容は十分に理解している
2. サービス内容を具体的に良く知らない
3. 利用者から利用希望を受けたことがある
4. 利用者から利用希望を受けたことはない
5. その他（具体的に：_____）

(3) 複合型サービス

1. サービス内容は十分に理解している
2. サービス内容を具体的に良く知らない
3. 利用者から利用希望を受けたことがある
4. 利用者から利用希望を受けたことはない
5. その他（具体的に：_____）

問 10. ケアマネジメント業務を行う際に、次のようなことはありますか。（それぞれについて 1 つに○）

(1) 利用者と家族で介護に対する意向が異なること

1. よくある
2. たまにある
3. ない

(2) 複数の事例に追われることが多いこと（業務量が多いこと）

1. よくある
2. たまにある
3. ない

(3) 職員の知識や理解が不足していると感じること

1. よくある
2. たまにある
3. ない

(4) サービスの調整が難しいこと

1. よくある
2. たまにある
3. ない

(5) その他、特徴的なことがあれば

その他（具体的に：_____）

問 11. 次のようなサービスについて、生駒市での過不足の状況をどのようにとらえていますか。（それぞれについて 1 つに○）

（1）外出や買物、通院などの移動手段

1. 充足している 2. 不足している 3. わからない

（2）地域での見守り

1. 充足している 2. 不足している 3. わからない

（3）ボランティアによる訪問など

1. 充足している 2. 不足している 3. わからない

（4）その他、不足していると思われるサービスをお書きください。

その他（具体的に：_____）

ご協力ありがとうございました。

記入もれがないか、今一度お確かめください。

記入した調査票を切り離さずに送付されたものすべて（表紙も含みます）を3つ折りにして同封した返信用封筒に入れ、切手を貼らずにポストに投函してください。

〇 1 1 - 〇 1

第6期介護保険事業計画策定のための事業者向けアンケート
【調査票】

調査票記入後は、3つ折りにし同封の返信用封筒に
入れて、5月21日（水）までに投函してください。

記入日	平成 年 月 日
サービス種類	訪問介護
事業所名	○△ヘルパーステーション ----- (記入された方の役職：_____)
電話番号	

生駒市介護保険課

は じ め に

事業所の皆様には、日頃から生駒市の介護福祉行政に、ご理解、ご協力いただきまして誠にありがとうございます。

このほど、生駒市では介護保険事業及び高齢者保健福祉施策の充実を図るため、第6期生駒市介護保険事業計画並びに高齢者保健福祉計画を策定することといたしました。

つきましては、この策定をするにあたり、事業所の皆様の業務に関わる忌憚のないご意見を伺い、計画づくりに反映させたいと考えているところです。

恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただきご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

なお、収集した情報につきましては、計画策定のための資料としてのみ活用され、その他の目的で使用されることは一切ありません。

平成26年5月

生駒市介護保険課

記 入 に 際 し て の お 願 い

1. この調査は、平成26年5月1日を基準日としてお答えください。
2. 同一法人様宛にアンケートが複数届く場合がありますが、サービス種類ごとに回答をお願いいたします。
3. 各質問のご回答については、該当する番号に○印をつけてください。その際、質問により1つのみ回答いただくものと、複数をご回答いただくものがありますので、ご注意ください。4. ご回答いただく際に、「その他」を選択される場合には、その番号を○で囲み、（ ）内にその内容をできるだけ具体的にご記入ください。
5. すべての質問へのご記入が済みましたら、お手数ですが、3つ折にし同封の返信用封筒に入れて、5月21日（水）までに投函してください。
6. この調査についてのお問い合わせは下記までお願いいたします。

問合せ先	生駒市介護保険課
電話	74-1111
(内線)	482~488

問 1. 貴事業所の運営主体は、次のうちどれですか。（○は 1 つだけ）

- | | | | |
|--------------|---------|-----------|---------|
| 1. 社会福祉法人 | 2. 医療法人 | 3. 株式会社 | 4. 有限会社 |
| 5. 財団法人・社団法人 | 6. 協同組合 | 7. NPO 法人 | 8. その他 |

問 2. 生駒市の認定者数は年々増加傾向にあります。貴事業所の利用者数は、以前の見込みと比べてどのように感じますか。（○は 1 つだけ）

- | | | |
|-----------------|----------------|-----------------|
| 1. 多い（2 割以上） | 2. やや多い（1 割程度） | 3. ほぼ見込みどおり |
| 4. やや少ない（1 割程度） | 5. 少ない（2 割以上） | 6. 大変少ない（3 割以上） |
| 7. わからない | | |

問 3. 現在の貴事業所の経営状況について、どのように認識していますか。（○は 1 つだけ）

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 常時黒字経営である | 2. 赤字の月もあるが概ね黒字経営である |
| 3. 収支は均衡している | |
| 4. 黒字の月もあるが概ね赤字経営である | 5. 常時赤字経営である |

▶ 問 3-1. 赤字経営の理由は何であるとお考えですか。簡潔にご記入ください。

理由（簡潔に： _____

 _____）

問 4. 貴事業所は、利用者から苦情や相談を受けたとき、これまでどのような対応をしてきましたか。（あてはまるものすべてに○）

- | | | |
|---------------------|-----------------|-----------------|
| 1. 選任相談員による対応 | 2. 行政への相談 | 3. 研修会の実施 |
| 4. 対応マニュアルを作成 | 5. 利用者や家族との話し合い | 6. 事業所の顧問弁護士に相談 |
| 7. その他（具体的に： _____） | | |

問 5. 貴事業所が、サービスの質の向上に向けて行っている具体的な取り組みは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 内部の研修や講習会の開催 | 2. 外部の研修や講習会への職員の派遣 |
| 3. 第三者評価機関の評価を実施 | 4. 利用者アンケートの実施 |
| 5. サービス提供マニュアルを作成 | 6. 苦情や相談の受付体制の整備 |
| 7. その他（具体的に： _____） | |
| 8. 特に取り組みをしていない | |

問 6. 貴事業所が事業を運営するうえで問題となっていることは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------------|-------------------|
| 1. 職員の採用が難しいこと | 2. 離職する職員が多いこと |
| 3. 職員の能力向上が難しいこと | 4. 収益が少ないこと |
| 5. 運営費がかさむこと | 6. 利用者が少ないこと |
| 7. 利用者のニーズがつかめないこと | 8. 苦情やトラブルが多いこと |
| 9. 必要な情報の入手が難しいこと | 10. 地域との連携が不十分なこと |
| 11. 同業者との連携・情報交換が不足していること | |
| 12. その他(具体的に: _____) | |
| 13. 特に問題はない | |

問 7. 貴事業所で、必要な連携が不足していると考えている関係機関・関係者はどこですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|----------------------|---------------|-----------|
| 1. ケアマネジャー | 2. 他の事業者 | 3. 医療機関 |
| 4. 社会福祉協議会 | 5. 地域包括支援センター | 6. 市の担当者 |
| 7. 自治会 | 8. 民生・児童委員 | 9. 利用者の家族 |
| 10. その他(具体的に: _____) | | |
| 11. 連携は十分できている | | |

問 8. 貴事業所では、今後、介護保険制度など福祉施策を充実していくためには、どのようなことが必要だとお考えですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 介護保険制度を周知すること | 2. 事業者への情報提供を充実すること |
| 3. 事業者間の交流促進を支援すること | 4. 事業者向け研修会の実施すること |
| 5. 事業者と地域の交流促進を支援すること | 6. 市独自サービスを充実すること |
| 7. 介護報酬の見直しを働きかけること | 8. 低所得者対策を充実すること |
| 9. 認知症対策を強化すること | 10. 人材確保の方策を充実すること |
| 11. その他(具体的に: _____) | |
| 12. 特にない、わからない | |

問 9. 現在提供している介護サービスの今後の事業展開(サービスの提供量)について、貴事業所はどのように考えておられますか。わかる範囲でお答えください。

(○は1つだけ)

- | | |
|----------|-------------|
| 1. 拡大したい | 2. 現状維持 |
| 3. 縮小したい | 4. 廃止を考えている |

問 9-1. 問 9 の理由を簡潔にお書きください。

理由(簡潔に: _____)

問 10. 貴事業所で、今後生駒市民に対して新規に事業展開したいサービスはありますか。
もっとも近い考え方に○をつけてください。（サービス種類ごとに○をつけてください）

サービスの種類		現在、提供している	具体的に 取り組む計画がある	取り組みたいが、今のところ 具体的な計画はない	取り組む意向はない (やめたい)
在宅系	1. 居宅介護支援				
	2. 訪問介護				
	3. 訪問入浴介護				
	4. 訪問看護				
	5. 訪問リハビリテーション				
	6. 居宅療養管理指導				
	7. 通所介護				
	8. 通所リハビリテーション				
	9. 短期入所生活介護				
	10. 短期入所療養介護				
	11. 特定施設入居者生活介護				
	12. 福祉用具貸与				
	13. 特定福祉用具販売				
施設系	1. 指定介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)				
	2. 介護老人保健施設				
	3. 介護療養型医療施設（療養型病床等）				
地域密着型	1. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護				
	2. 夜間対応型訪問介護				
	3. 認知症対応型通所介護 (認知症デイ)				
	4. 小規模多機能型居宅介護				
	5. 認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)				
	6. 地域密着型特定施設入居者生活介護 (小規模特定施設)				
	7. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 (小規模特養)				
	8. 複合型サービス				

問 11. 問 10 でそれぞれのサービスについて「1. 計画がある」「2. 取り組みたいが計画はない」とご回答のされた貴事業所にお聞きします。

計画があるサービスのうち、主なもの 5 つについて、わかる範囲でお答えください。
(日常生活圏域は別紙をご覧ください。)

(1) 計画があるサービスの問 10 の番号・名称 ()

① 日常生活圏域の番号 (あてはまるものすべてに○)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 未定

② 開設時期 (あてはまるものすべてに○)

1. 平成 26 年度 2. 平成 27 年度 3. 平成 28 年度
4. 平成 29 年度 5. 平成 30 年度以降 6. 時期未定

③ 規模 (年間の利用者定員・入所者定員、時間帯 など)

簡潔に ()

(2) 計画があるサービスの問 10 の番号・名称 ()

① 日常生活圏域 (あてはまるものすべてに○)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 未定

② 開設時期 (あてはまるものすべてに○)

1. 平成 26 年度 2. 平成 27 年度 3. 平成 28 年度
4. 平成 29 年度 5. 平成 30 年度以降 6. 時期未定

③ 規模 (年間の利用者定員・入所者定員、時間帯 など)

簡潔に ()

(3) 計画があるサービスの問 10 の番号・名称 ()

① 日常生活圏域 (あてはまるものすべてに○)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 未定

② 開設時期 (あてはまるものすべてに○)

1. 平成 26 年度 2. 平成 27 年度 3. 平成 28 年度
4. 平成 29 年度 5. 平成 30 年度以降 6. 時期未定

③ 規模 (年間の利用者定員・入所者定員、時間帯 など)

簡潔に ()

(4) 計画があるサービスの問 10 の番号・名称 ()

① 日常生活圏域 (あてはまるものすべてに○)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 未定

② 開設時期 (あてはまるものすべてに○)

1. 平成 26 年度 2. 平成 27 年度 3. 平成 28 年度
4. 平成 29 年度 5. 平成 30 年度以降 6. 時期未定

③ 規模 (年間の利用者定員・入所者定員、時間帯 など)

簡潔に ()

(5) 計画があるサービスの問 10 の番号・名称 ()

① 日常生活圏域 (あてはまるものすべてに○)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 未定

② 開設時期 (あてはまるものすべてに○)

1. 平成 26 年度 2. 平成 27 年度 3. 平成 28 年度
4. 平成 29 年度 5. 平成 30 年度以降 6. 時期未定

③ 規模 (年間の利用者定員・入所者定員、時間帯 など)

簡潔に ()

問 12. 最後に、市役所や関係機関 (社会福祉協議会、地域包括支援センターなど) への意見や要望があればご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

記入もれがないか、今一度お確かめください。

記入した調査票を切り離さずに送付されたものすべて (表紙も含みます) を 3 つ折りにして同封した返信用封筒に入れ、切手を貼らずにポストに投函してください。